

総合人間学部

Faculty of Integrated Human Studies

■ 総合人間学科

人間そのものと人間をとりまく世界を
文理をこえて総合的にとらえ、
常識にとらわれない
柔軟な思考で新領域を切り拓く



「京都大学所蔵近代教育掛図目録」：外国語教育用掛図「町」(京都大学吉田南総合図書館 所蔵)

注目

既存学問の枠を超えた総合的な学問の場

総合人間学部は、科学技術の急速な発展や国際化の進展などによって急速に変化する社会に対応するために、人間とそれをとりまく世界を、今までの学問の体系にとらわれない学際的な観点から総合的にとらえようとする、「人間の学」構築を目標とする学部です。学際的な視点を持ち、各界で創造的に活躍できる人物を育成します。

前進し続ける総合人間学部

総合人間学部は2024年度より「学術越境」の理念のもと、10の講座からなる新たな形に生まれ変わります。1993年度に第一期生を迎え入れた京都大学でもっとも新しい学部である総合人間学部は、つねに変革し前進し続けます。

学術越境の理念

文理にまたがり京都大学でもっとも広範な学問分野をカバーする総合人間学部は、あたかも一つの総合大学のようなものです。その特性を活かし、「学術越境」という理念を軸に、学部を再編することになりました。「学術越境」とは、教員、学生が自らの専門分野を極めつつ、学術的並びに社会的な問題解決のために積極的に他分野の知見を取り入れてゆくことです。総合人間学部で学ぶ学生は、専門分野の深く系統的な修得は当然のこと、専門だけに閉じこもらない柔軟で社会に開かれた学際的な精神を身につけます。

他者とのコミュニケーション能力の養成

「学術越境」は専門を異にする他者との真剣なコミュニケーションを前提とします。既存の学問分野にとらわれない学際的で広い視点をもつ「学際知」の育成とともに、専門を他者にわかりやすく伝える「教養知」の育成が目指されています。他者に伝える試みは専門に新たな着想をもたらす貴重なきっかけにもなります。



写真上から、植物野外実習、書論・書写演習、学位記交付式、講義「体験から学ぶ超電動」、オープンキャンパス

総合人間学部の特徴

1 総合人間学部が育成する人材

総合人間学部は、新たな「人間の学」の創出を主軸とする学部ですが、この学問的追究を通して、高い倫理性と幅広い視野から創造的かつ持続的に現代の諸問題と向き合い、多様な人々と協働しながらリーダーシップを発揮する人材を育成することを目的としています。多様な学問分野を網羅する教員陣のもとで、教養教育・基礎教育と専門教育を体系的に一体化したカリキュラムを提供します。

2 文理を超越する多様な専攻の選択が可能

受験生の皆さんは大学の授業に触れたことがないため、入学後専門とする学問について必ずしも深い理解をもっているとは限らないでしょう。そのため、受験学部の選択は受験生にとって大きな悩みの種かもしれません。しかしながら総合人間学部では、入学後選べる専門の幅は文理をまたいで本学他学部にはない広さに及んでいます。入試の際の〈文系・理系〉の別にもとられないで選択が可能です。入学後、広く各分野の授業を履修し、実際に学問に触れてから、じっくり専門を選べるのが、総合人間学部の大きな特徴です。

3 ユニークな取り組み「他者に語る」

「学術越境」は専門分野を異にする他者との真剣なコミュニケーションを前提とします。総合人間学部は他者に専門をわかりやすく伝える力の育成を図る「他者に語る」というユニークな取り組みを行っています。卒業論文執筆後に、論文で扱ったテーマを他分野教員や他学生に分かりやすく説明するという試みです。わかりやすく説明する努力は自らの理解を相対化し、深めてゆくきっかけになります。この試みは学生にとって卒業間際の意義深い経験になります。

4 幅広い視野と創造性を育む副専攻制度

総合人間学部では専門分野ではない特定の他分野を副専攻として選んで系統的に履修する、副専攻制度を設けています。その目的は幅広い視野と豊かな創造性をもつ人材の育成にあり、主専攻で培う高度な専門性に並んで、他分野の深い知識と素養を身につけることで、複眼的な視点と学術越境の精神を育むことを目指しています。

5 大学院 人間・環境学研究科への接続

総合人間学部の学びは、事実上総合人間学部の大学院である、大学院 人間・環境学研究科に直結しており、例年4割程度の学生が進学します(本学の他研究科や他大学の大学院への進学も可能です)。人間・環境学研究科には総合人間学部の10講座にそれぞれ対応する10の講座が設けられており、学部時代と同一の教員の指導のもとでシームレスに専門を継続的に学修し、深化させることが可能です。

総合人間学部が望む学生像

総合人間学部は、たえず変化する現代社会における人間と文明と自然の新たな結びつきを見出すために、人文科学、社会科学、自然科学を横断する「人間の学」の創出をめざしています。本学部が求めるのは、この基本理念に共鳴し、次の4点の素養をもつ人です。

- ① 「人間の学」の創出という挑戦に積極的に加わりようとする志をもつ人。
- ② 人類が直面する様々な課題に向きあう進取の精神をもつ人。
- ③ 持続的で創造的な取り組みを支える教養を身につけたいと考える人。
- ④ 修得した知識・技術を活用する主体的な思考力・判断力・表現力を備え、他者と協働しながら学ぼうとする姿勢をもつ人。

総合人間学部の10の講座

数理・情報科学講座

数理学において、主に解析的な手法を用いて、さまざまな現象の変動過程の数理構造の解明をめざすとともに、情報科学において、理論と応用の両面から探求を行います。数理学においては、常微分方程式、偏微分方程式、確率微分方程式、確率過程、離散力学系、複素力学系、カオス・フラクタル理論などを用いて記述されるさまざまな数理的現象を解析します。情報科学においては、機械学習、データサイエンス、メディア情報処理についての理論と応用、またパズル・ゲームの数理、量子計算などの諸問題について探究します。さらに、プログラミング言語理論、数理論理学、証明支援系、圏論、記述集合論などを通じて、計算の本質、特に数学の中に現れる計算概念に関して追究します。

芸術文化講座

本講座は、イギリス・アメリカを起点として世界に広がる英語圏文学、ドイツ語圏とフランス語圏をはじめとして多言語文化を基盤とするヨーロッパの文学、さらにはヘブライ文学を視野に入れ、芸術の本質と未来の可能性を探究します。小説、詩、演劇などの文学作品から映画、舞台芸術、音楽、美術まで、様々なジャンルの創造行為を対象とします。文化的・社会的・思想的背景に留意しつつ、個々の作品をダイナミックで立体的なものとして浮かび上がらせるため、芸芸批評、演劇理論、映画理論、芸術哲学を学びます。ローカル・グローバルの両側面に光を当てることによって個々の作品の特殊性と普遍性を解明し、異なる文化の共生を模索します。

言語科学講座

言語は人間の最大の特質であり、さまざまな知的な営みに欠かすことのできないものです。本講座は、理論言語学、記述言語学、応用言語学(教育・習得)の各領域を中心として、多角的に言語の本質を理解するための研究を展開しています。理論言語学の領域では、生成文法、認知言語学といった理論を用いて、言語の文法や意味、人間の認知能力を明らかにしようとしています。記述言語学の領域では、さまざまな言語の歴史的・地理的な変異や変種を調査・比較し、言語の普遍性と多様性を探究しています。応用言語学の領域では、外国語習得のメカニズムやプロセス、外国語教育の課題や制度などを、認知的・心理的・社会的観点から研究しています。

共生世界講座

持続可能な共生世界・共生社会の実現の可能性とその難しさに向き合いながら、共生の上に成り立つ新たなコミュニティの構築に向けた社会制度・社会関係のあり方を、多元的に考究します。そのために、本講座では、国際関係・外交関係、世界の諸地域の歴史・社会(アメリカ・ヨーロッパ・インド等)、経済・資本制システム、環境・資源、移民、労働関係、公共政策・民主主義、メディア、憲法・司法システム等、幅広い事象に着目します。政治論・政策論・外交論・経済論・環境論・法律論・社会論・歴史論・思想論等を、領域横断的に相関させることにより、上記目的に寄与する総合知を創出します。また、それを実践し、活用できる人材を育成します。

物質科学講座

当講座では、物質の基本構成要素である電子・原子をはじめ、 H_2 や CO_2 などの小分子から、より複雑な有機・生体分子や3次元固体物質まで、サイズや次元が異なる多様な物質系について、次のような研究を進めています。1)新しい有機分子、ナノ材料、固体触媒、電池材料、分子性結晶、光機能性材料の創成と機能の探求、2)質量分析、核磁気共鳴、光電子分光、X線吸収分光、発光分光、トンネル顕微鏡などの各種分析・測定手法の開発、3)高温超伝導、強相関電子系、冷却原子系、低次元物質などの新奇物性現象の発見と発現機構の解明、4)光触媒・光熱変換触媒、燃料電池、光機能性材料などのエネルギー変換機構の解明

「講座」とは学問分野の近い教員の集団で、学生もこれに所属して、自分の属す講座開講の科目を中心に体系的に専門の学修を深めてゆきます。

人間・社会・思想講座

人間は世界や他者、そして自己自身と関わりつつ社会を構成して生きる存在ですが、言語も思想も人間の産み出したものとして事後的に付加されるだけのものではありません。それらはむしろ人間自身と社会との関わりを根本から規定し、性格づけるものです。当講座は、言語と思想を持ち社会的な存在でもある人間、および人間と社会との相互交渉について、根源まで遡って原理的な究明を行います。また、原理的究明を踏まえて個別の社会のあり方や社会内の人間の具体的な行動や発達の詳細、さらには病理的なあり方で視野に収めて実証的研究を展開するとともに、その研究の実践への応用を試みます。

認知・行動・健康科学講座

認知・行動・健康科学講座では、神経科学、認知科学、心理学、生理学、運動科学、健康科学、運動医学、精神医学などのさまざまな学問を基盤として、精神と身体が担う諸機能のメカニズム、発達過程、形成方法に関する基礎的研究と、健康づくりとスポーツ活動に関する実践的研究を行います。さらに、加速する情報化社会、生命・文化の多様化、人と機械の共生のあり方など、社会の変化にともなう人類の諸課題についての総合的な研究と実践活動を展開していきます。これらの成果をもとに、人類が生命活動・健康・発達をより良く実現していくための方策と手段を探究します。

東アジア文明講座

東アジアの諸地域は、各地域が独自の文化を発展させるとともに、地域間の活発な交流によって、全体として大きなまとまりをもつ政治圏・経済圏・文化圏を作り上げてきました。この講座では、日本語学・日本文学、中国語学・中国文学、日本史・中国史、中国思想・朝鮮思想といった専門研究領域を基礎としながら、これらの学問領域を融合させて、東アジア諸地域で育まれた言語・文学・歴史・思想を縦横に研究し、西欧文明とは異なる東アジアの歴史・文化・社会を総合的に解明することを目指します。

文化・地域環境講座

長い歴史のなかで育まれてきた固有の民族・文化・地域・空間・景観の特性や居住の諸相を「文化・地域環境」として捉え、その生成・展開、保全の諸過程や現状を解明する講座です。文化人類学、建築学・都市計画学、人文地理学といったフィールド研究にもとづく学問分野を横断し、文化・地域環境に関する基礎研究と実践研究を統合した研究教育を行っています。都市開発やまちづくり、地域活性化、文化遺産・景観の保全と活用、異文化・地域間交流、地域課題の解決に資する実務者・指導者・研究者を育成します。

地球・生命環境講座

自然と人間とがよりよく共存できる関係の構築をめざして、宇宙や地球の過去・現在・未来、地球の内部や表層と生物達との関係や、生物の働きを探究します。地球物理学、地質学、古生物学、地球化学、惑星科学などの知識と技術を使って、惑星や衛星のできる過程、地球の内部や表層の動き、物質や環境の変化を調べます。また、生物同士の関係を調べることによって、多様な生物が存在する仕組みや生態系の安定性を探究します。さらに、生物が環境に適応したりエネルギーを取り入れたり変換する方法や、生物を含む自然の資源を健全に利用するための方法についての教育研究を行います。

国境線を外すと見える共生の可能性。「ふつうの人々」が主役の移民史から学ぶ

総合人間学部 / 大学院人間・環境学研究科
徳永 悠 准教授



私の専門はアメリカ移民史です。おもに20世紀前半のカリフォルニア州における日本人移民やメキシコ人移民の歴史を研究しながら、異なる出自の人たちがどうすれば差別を乗り越えて共生できるのかという現代的な課題に挑んでいます。当時のカリフォルニア州は日本を含むアジアやラテンアメリカ、ヨーロッパ、アフリカなど、様々なルーツの人々がよりよい生活を求めて押し寄せる場所。白人地主から土地を借りて借地農となった日本人移民がメキシコ人移民を雇うなど、しだいに集団間の関係も複雑化してゆくなかで、人種や階級をめぐる対立するだけでなく、必要に応じて妥協も重ねながら多様な人たちがともに暮らしていました。

第二次世界大戦が始まると日本とアメリカは敵対することになり、カリフォルニア州で暮らす日系人は強制収容所に送られてしまいます。しかし、かならずしもすべてのアメリカの人々が日系人を敵視していたわけではありません。収容所の外で日系人が活動できるように、「彼の評判はよく、農家として優れている」とかつての地主が推薦状のような文章を書いて支援することもありました。日常的な関わりがあったからこそ、緊迫した時代にも対立だけではなかったことがわか

る重要な史実です。こうした歴史は、国境線や民族などの枠組みに縛られていては見逃してしまいます。その多くが「ふつうの人々」である移民の歴史を学ぶことは、社会が作り出した境界線を思考の中で取り除き、共生のヒントを学び取ることにつながります。

総合人間学部は学際性に富み、既存の枠にとらわれない自由な発想を育める場所。だからこそ、自身の問題意識を掘り下げるには学びの軸をしっかりと定めることが重要です。入学前のフレッシュな好奇心を大切に、どの教員のもとでどんな手法を学びたいかまで踏み込んでイメージしておけば、型にはまらない学びを最大限に活かせます。くわえて、総合人間学部は世界各地の歴史や文化を専門とする研究者が集まり、国際性も高い学部。そうした環境を活かし、海外への留学もぜひ視野に入れてください。主体的に学びをデザインすることが、より充実した大学生活への第一歩です。

先輩が教える 京都大学の魅力

卒業生

株式会社デンソー
2019年3月 総合人間学部 自然科学系 卒業

学びの自由度が高い 総合人間学部

総合人間学部の魅力は、多様な科目を自由に履修できることだと思います。純粋に学問の面白さや奥深さを感じられますし、授業や実習を通して専攻を慎重に決断することができます。私が専攻したのは物理学です。学びが研究に繋がることを強く実感しました。幅広い学問を学びたい方、勉強好きな方に総合人間学部をお勧めします。



菱川 愛佑子さん

茨城県
茨城県立土浦第一高等学校 出身

卒業後の進路

- **進学** 約4割が人間・環境学研究科等の大学院へ進学します。
- **就職** 就職先は情報通信業や金融業やIT関係、化学・電気・機械等のメーカー、広告会社等のサービス業、官公庁等、総合人間学部の特色を示すように多岐にわたっており、卒業生は社会の広い分野で活躍しています。
- **就職先の例** 東日本旅客鉄道(株)/楽天グループ(株)/㈱講談社/㈱エヌ・ティ・ティ・データ/厚生労働省/住友生命保険相互会社/㈱三井住友銀行/野村證券(株)/豊田通商(株)/SGホールディングス(株)/富士通(株)
- **取得可能な資格** 総合人間学部は下記の種類・教科に関する課程認定を受けており、教育職員免許法の定めによる所定の単位を修得し、所定の手続きを行えば免許状が取得できます。また、博物館等の学芸員や図書館司書の資格も他学部の科目を修得することで取得することができます。
- **取得可能な教育職員免許の種類と教科**
中学校一種……国語/社会/数学/理科/英語
高等学校一種……国語/地理歴史/公民/数学/理科/情報/英語

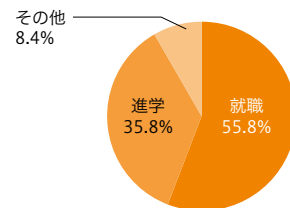
大学院の紹介

大学院人間・環境学研究科 人間・環境学研究科で 学んでみませんか？



総合人間学部と人間・環境学研究科は、名称こそ異なりますが基本的に同じ組織で、同じ先生方が教育・研究を担当されています。総合人間学部から進学するひとも毎年4割程度います。人間・環境学研究科は総合人間学部の10講座に対応する10講座からなり、総合人間学部からの進学者には学修が円滑に継続できる利点があります。人間・環境学研究科では、総合人間学部と同様の文理にまたがる広範な学問分野の連携を通じて、人間と環境についての理解を深めるとともに、そのよりよい関係を構築するための新たな文明観、自然観の創出に役立つ学術研究の推進を目指しています。研究科修了後は、研究者になるひとも多い一方、行政や民間企業に就職する修了生も少なくありません。研究者になった修了生のなかには、学際的で独自性の高い研究をするひとも多いように見うけられます。

2022年度 卒業生の状況



文学部

Faculty of Letters

■ 人文学科

京都学派を育んだ新進の精神が息づく
刺激的な知的交流の場に
新風を吹き込む
若き好奇心を求めて



江戸時代前期に制作された奈良絵本「たなはた」
(美学美術史学専修所蔵)

注目

6学系31専修で文化全般をカバー

現在、文学部には哲学基礎文化学、東洋文化学、西洋文化学、歴史基礎文化学、行動・環境文化学、基礎現代文化学、6つの学系があります。あわせて6学系に計31専修が設置されており、人類の思想や言語文化、歴史、行動、文化全般に関する諸学問を広くカバーしています。

キーワードは「人間とその文化的営み」

文学部の多種多様な研究を束ねるキーワードは「人間とその文化的営み」です。その研究領域は人類文化の起源から現代に至っており、地理的にも日本から地球の全域におよびます。また、多様に広がる専門研究を担う専修は、それぞれ独立した研究室を形成しており、学生は教員や大学院生と授業等の場を共有することで、多くの学びと知見を得ていきます。

各研究室が学問的ネットワークを形成

6学系31専修にある研究室の多くは、他大学などで研究職に就く卒業生も加えた研究会を運営しており、そうした独自ネットワークの広がり、100年をこえる文学部の学問的伝統を支えています。

「京都学派」とよばれる自由な学風

京都大学の文学部は「京都学派」とよばれる独自の自由な学風を育むことで各界に多数の有為な人材を輩出し、国内に数ある文学部のなかでも特筆すべき位置づけを示しています。こうした歴史と伝統に培われた学習環境が、ほかに例がないのももちろん、この知的交流の場に新入生が新風を吹き込んでくれることを求めるなど、新進の精神が絶えないのも京都大学の文学部ならではの姿です。



文学部の特徴

1 国際化に対応した新しい研究者の育成

京都大学の文学部が掲げる最大の目標は研究者の養成です。ただし研究対象が日本あるいは諸外国・地域の文学・文化に関わらず、国内の評価だけで研究者として認められる時代は過ぎ去りました。世界の研究者と対等に渡り合い、自身の研究価値を世界に認めさせながら国際的研究水準のレベルアップに寄与し、世界各国・地域の研究者がナショナリズムをこえた相互理解の共通基盤に立てるよう、努めなければいけません。これらをふまえ、国際化に対応した新時代の研究者を育成しています。

2 専門性の高度化につながる 明確な目標設定

京都大学の文学部では、思想、言語、文学、歴史、行動、現代文化、それぞれの学術体系を習得することにより、人間の諸活動を原理的に解明することをめざします。あわせて絶えず変化する環境下、これらの学問がもつ価値を問直す研究者としての専門性の高度化をめざし、次の学習目標を設定しています。

哲学・歴史学・文学・行動科学に関する基礎的学識と専門分野についての深い理解力を養い、卒業論文の作成を通じ、問題の探究・分析能力や表現力を身につける。

哲学・歴史学・文学・行動科学に関する諸課題に向きあうことで問題の発見・解決能力を養い、創造的に取り組む姿勢を身につける。

人文学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その展開に寄与する行動が可能な能力を身につける。

自由で批判的な精神と良識を養い、人類が直面する課題を直視し、問題解決に積極的に寄与することができる能力を身につける。

3 教養教育の土台に専修の学びを 積み重ねる4年間

1年次 まずは1年間、教養教育を軸とする「全学共通科目」を主に履修します。年次進行にあわせ、学習分野は専門化していくため、この間に幅広い学問分野にふれておくことは、長期的にプラスです。あわせて2年次での学系選択、3年次での専修選択を意識し、それぞれに必要な外国語を学んでおくことが望まれます。

2年次 次年度での専修選択に向けて、哲学基礎文化学、東洋文化学、西洋文化学、歴史基礎文化学、行動・環境文化学、基礎現代文化学、6学系のいずれかに仮分属します。あわせて各専修が開講する研究入門的な講義や基礎演習などを履修、2年次の秋に行う専修選択に備えます。

3年次 本格的な専門教育が始まります。分属する各専修では講義の他、演習や特殊講義といった専門的な授業を履修します。そのなかには大学院生とともに学ぶ授業もあります。当初は大学院生の知に圧倒されることもあります。彼等の学問を追究する真摯な姿勢から、研究者への道が見えてくるようです。また、文学部では諸外国語をふくむ文献講読を主とする授業が多い傾向にありますが、実験やフィールドワークを行う専修もあります。

4年次 卒業論文の作成が学びの中心となります。自らテーマを定め、自ら資料を集めて分析し、自ら論文にまとめる過程は容易ではなく、辛苦を伴うこともあるでしょう。ただし辛苦を乗り越えた経験は、実社会においてきわめて有益であり、大学院に進学する学生にとっては、卒業論文の作成が研究者の道を行く第一歩となります。

文学部が望む学生像

京都大学の文学部は、哲学・思想・歴史学・文学・文化・行動科学等に関する諸問題を学び考え、自由の学風を重んじる本学の基本理念をふまえながら、新たな知的価値の創出をめざす学生を求めています。入学者の選抜においては、次の3点が問われます。

- ① 総合的な基礎学力をもっていること。
- ② 過去から現在に至り、さらに未来にまで伸びる人類の営みについて、深い関心をもっていること。
- ③ 高度な文章読解力、および論理的かつ柔軟で、創造性豊かな思考力とそれを表現する力をもっていること。

6 学系の紹介

哲学基礎文化学系

新時代の思想の担い手を育成

「哲学基礎文化学系」は多様な文化圏・言語圏に蓄積された哲学・思想を学び、新しい時代の思想の担い手を育成する〈場〉です。それは社会や他の学問領域では自明とされていることの原点に立ち戻り、問い直す〈場〉でもあります。たとえば「殺人は悪」とする常識の根拠は何なのか、善悪の区別に意味はあるのか、科学や歴史学が標榜する〈実証性〉とは何なのか、人間にとって宗教とは何なのか、美や芸術とは何なのか、これらの問いは人間の知的営み全般に向きあうことでもあります。哲学基礎文化学系は、そんな知的野心あふれる〈場〉にほかなりません。

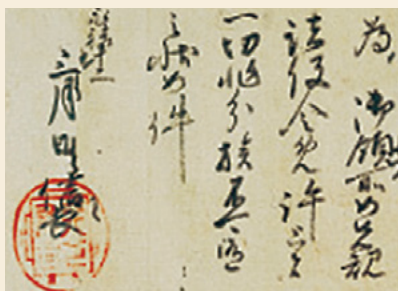


アウグスティヌス『告白』の冒頭部分。1491年に刊行された最初の印刷本

歴史基礎文化学系

人類社会の発展を時間軸に沿って考察

「歴史基礎文化学系」は日本史学、東洋史学、西南アジア史学、西洋史学、考古学の5つの専修で構成されています。文献史料を主な対象とする4史学と考古学の研究手法は大きく異なりますが、人類と社会の発展を時間軸から考察する点は共通しています。また、文献や史料を読み解く学力の習得を重視するとともに、演習・実習による実践的な学びを充実させているのも5専修の共通点です。さらに他学系の授業、たとえば地理学や現代史学、東西の古典語なども学ぶことにより、人類の文化的な営みを総体的に捉える視点を獲得することも可能です。



織田信長朱印状

東洋文化学系

時代をこえた文化研究を行う

「東洋文化学系」では日本、中国、インド、チベットなど、東アジア諸地域の文学・思想・宗教・言語などを主に、時代をこえた研究を行います。専門分野によっては科学や芸術、サブカルチャーにまで踏み込むこともあります。その基礎は文献資料の読解にあり、原文でしかわからない意図や美の理解を求め、原典言語の学習に取り組みます。めざすのは、東洋と世界がどのように関わっているのか、歴史的伝統と現実はどのように結ばれているのか、文学や芸術はどのような世界を創るのか、これらを正確な専門知識と幅広い視野から解明していくことです。

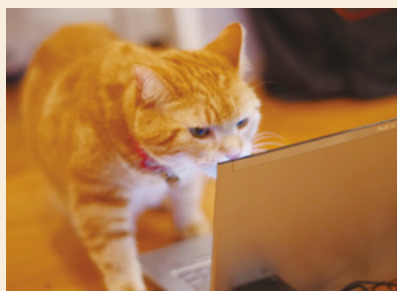


中国語学中国文学研究室所蔵の貴重資料

行動・環境文化学系

人々の思考と関係性が生まれる現場へ

「行動・環境文化学系」は心理学、言語学、社会学、地理学の4つの専修で構成されています。心理学専修では実験を通じ、知覚・認知、思考、記憶、発達、社会性といった〈心の働き〉を研究します。言語学専修では、個別言語の構造・体系の分析や、言語が一般に機能する仕組みや変化する仕組みの研究を行います。社会学専修では社会構造の変化や人びとの関係などを研究し、昨今の多様なトピックスに焦点をあてる社会調査にも注力します。地理学専修では、地域の現地調査や資料・データ分析を通じて、地表での多様な自然と人間の関係を研究します。



パソコン画面に映し出された視覚刺激を見つめるネコ

西洋文化学系

文学と言語の視点に立った研究を

「西洋文化学系」ではヨーロッパやアメリカの文化と社会について、主に文学と言語の視点に立った研究を行います。取り扱う時代は幅広く、古代から中世、近代や現代に至ります。但し研究対象に関わらず、その基礎は文献資料の正確な読解にあり、まずは語学力の習得に取り組みます。そうして養う高度な語学力や読解力、文学や言語文化に関する深い考察力が研究者の道を拓くことはもちろん、幅広い視野に基づく異文化理解力やコミュニケーション能力を活かし、官公庁や教育、報道、出版、流通など、多方面で活躍する卒業生も少なくありません。



ドイツ語学ドイツ文学の研究会

基礎現代文化学系

現代の多面的な把握に取り組み

現代は、歴史上かつてなかったほど、人類が巨大な変化を経験している時代です。「基礎現代文化学系」は、さまざまな角度から、この「現代」の特質や成り立ちを考察します。科学哲学科学史専修は、現代を特徴づける科学の営みを哲学や歴史学的手法を用いて分析します。現代史学専修は、現代史は世界史であるという観点に立って、歴史学的手法により現代世界を分析します。メディア文化学専修は、おもにメディアや情報という切り口から、人文学のさまざまな手法を組み合わせながら、現代の社会や文化を考察します。



手書きのドイツ語日記から「幾何」の単語を検索している文献研究用ツール「SMART-GS」

近世ポーランドに辿る民主主義の系譜。上書きではない切り口こそ、学びの醍醐味

文学部 / 大学院文学研究科
小山 哲 教授



議会制民主主義を確立した国というと、多くの人は17世紀以降に市民革命を成し遂げたイギリスやアメリカを思い浮かべるでしょう。ですが、16世紀後半のポーランドでは、議会を中心に国政を運営し、世襲ではなく選挙によって国王を選ぶ「選挙王制」という政治制度が存在していました。選挙権は貴族などの特権階級に限られるものの、ワルシャワ近郊の野原に野営して全会一致を原則に選挙を実施して国王を選んでいたのです。近世のポーランドは周辺をプロイセン王国やロシア帝国などの絶対王政の強国に挟まれる危うい状況。そんななかでポーランドの貴族たちは国王への権力の集中を避け、自分たちの力で国の秩序を保とうとしたと考えられます。彼らは自らのこうした権利を「自由」と表現し、意見が割れたときは武器を手にしての争いにまで発展しながらも、約200年にわたって選挙王制を維持しました。英米由来の民主主義や自由の歴史と異なる、もう一つの自由の系譜がポーランドには存在したのです。

こうしたポーランドの歴史は高校まではほとんど習いません。教科書の知識はあくまで基礎的な枠組み。たんに上書きするだけではおもしろくありません。国や地域の数だけ、歴史の切り口は無数にある。

大学とは、そんな多様性もつ豊かさを学ぶ場所です。気になるテーマを見つけたらぜひ積極的にアクションを起こしてみてください。人に会うのもよし、読書会を企画してもよし。自分なりのこだわりのアンテナを立てて臆せず動いてみれば、あなたらしい切り口が見えてきます。

そこからさらに踏み込む鍵となるのが語学力。もちろん英語は必要ですが、グローバルな言語ゆえに語り手の背景が見えづらい。ポーランド語を学び、現地の新聞を読めば、その国に生きる人たちの目線にぐっと近づけます。京大文学部にはポーランド語はもちろん、サンスクリット語など、世界の多彩な言語を学べる環境があります。こだわりを羅針盤に、語学の地図を拡げて、まだ見ぬ世界を探検してください。文学部で4年間学んだ未来では、世界がより豊かなものに見えていくはずですよ。

先輩が教える 京都大学の魅力

卒業生 京都大学大学院文学研究科美学美術史学専修
修士課程2回生

慣れ親しんできた文学や芸術に「学問」として出会い直す衝撃

文学部に興味を持つ皆さんの中には、既に文学や芸術に対してそれなりの知識を持っている方が少なくないと思います。たくさん本を読んできた方も多いでしょう。大学に入ってわたしが一番衝撃を受けたのは「学問として」それらのもの—詩や小説や絵画—を見ることを知った瞬間です。思えば、その衝撃がわたしを研究の沼に突き落としたのかもかもしれません。もう知っていると思って大丈夫、まだきっと何も知りません。学びの一番楽しい部分は大学に入ってから始まります。だから、楽しみにしてみてください。



末田 泉名さん
静岡県
静岡県立静岡高等学校 出身

卒業後の進路

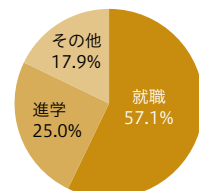
■概要 この数年は2~3割が大学院に進学しています。就職先としては官公庁や教育機関、マスコミや出版関連が多数でしたが、最近は情報通信業や金融業および経営コンサルタントの比率も高まっています。また、特定分野に偏らず、幅広い業種・業界で活躍する卒業生が多いのも文学部の大きな特徴です。

■就職先の例 国家・地方公務員/高校教員/PwCコンサルティング合同会社/㈱コニエ/アマゾンジャパン合同会社/みずほ信託銀行(株)/京都中央信用金庫/㈱三井住友銀行/三井住友信託銀行(株)/明治安田生命保険相互会社/野村證券(株)/㈱NTTドコモ/㈱集英社/㈱読売新聞東京本社/数研出版(株)/㈱日本経済新聞社/㈱博報堂/関西電力(株)/国立国会図書館/三井物産(株)/西日本旅客鉄道(株)/大丸松坂屋百貨店/大阪瓦斯(株)/日本電気硝子(株)/日本放送協会/読売テレビ放送(株)/味の素(株) など

■取得可能な資格 文学部では所定の科目を修得した場合、教育職員免許状や博物館学芸員資格の取得が可能です。また、地理学専修の卒業生で測量に関する科目を修得して卒業後1年以上、測量に関する実務を経験した者は測量士の資格が取得できます。この他、教育学部が開講する所定の科目を修得することで、図書館司書や学校図書館司書教諭の資格も取得できます。

■取得可能な教育職員免許の種類と教科
中学校一種……国語/社会/英語
高等学校一種……国語/地理歴史/公民/英語

2022年度 卒業生の状況



大学院の紹介

大学院文学研究科 「さがしてみる」、 そして「見つける」



文学研究科は、文献文化学、思想文化学、歴史文化学、行動文化学、現代文化学、京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境(修士課程)の6専攻に分かれており、大学院の教育課程は2年間の修士課程と3年間の博士後期課程から構成されています。入学後には、これらの知識や能力を基礎としつつ、計画的な論文指導を受け、特殊講義および参加型の演習授業などで学ぶことを通して、専門家としての責任感と倫理性をもって、オリジナリティを有する研究を進め、国際的に活躍していく能力を身につけることが期待されています。

本研究科は、専門分野を学ぶための十分な基礎学力を具えており、人文学に関わる諸問題の解明を目指し、自由の学風を重んじる本学の基本理念を踏まえながら、新たな知的価値を創出することのできる学生を求めます。

教育学部

Faculty of Education

■ 教育科学科

教育は未来を創る営み。

「人間とは何か」を探究しながら
人類の未来に必要な知を創出する



注目

教育という営みを通して「人間とは何か」を考える

京都大学の教育学部は、教員養成を主目的としていません。教育をはじめとする人間の次世代伝承の営みを、現代社会の諸問題と関連づけて探究する知の創出を目指しています。より良い未来社会を実現するために必要な知と技法の開発と人材育成を担っています。

諸科学の融合による「新たな教育」の探究

人間の営みは、個や社会、文化が複雑に絡み合いながら、そして、時間軸にそってつねに変容し続けていく事象です。そのため、教育学部では、人間を深く探究する人文科学、社会の仕組みや動きを解明する社会科学、人間の身体や脳、心に関する人間科学など多様なアプローチから「人間とは何か」を多面的に探究できる教育・研究プログラムを提供しています。

基礎研究と現場実践の往還による知の創出

教育学部では、理論とフィールドでの実践との往還を重視しています。基礎研究の成果を現場にフィードバックし、さらにその結果を基礎研究により検証するループを継続しながら、未来社会に資する学術からの貢献を目指しています。

教育界の次代を担うリーダーの育成

教育は未来を創る営みであり、教育学部は未来に関わる学問を学ぶ場です。変化の激しい現代は未来が見通しにくい時代であり、教育への期待は日増しに大きくなり、果たすべき役割の重要性も高まる一方です。これらに応えるため、教育学部では多様な学問が学べる3系と少人数制の利点を活かした指導により、学生たちを教育界の次代を担うリーダーへと育みます。



教育学部の特徴

1 人間らしさを擁護・促進する態度の養成

全学共通科目による教養教育と学部科目による専門教育を有機的に関連させた学びを提供することで、現代人に必要とされる広い視野と異質さへの理解、多面的・総合的な思考と批判的判断力、これらを備えた「人間らしさを擁護し促進する態度」の養成を教育方針としています。

2 教育に多様な観点から向きあう3系

教育学部は1学科(教育科学科)3系で編成しています。教育に関連する事象を、さまざまなアプローチからとらえる知と技法を習得するための基礎教育プログラムを提供します。あわせて“ゆるやかな”専門的分化を図ることで、教育が抱える複雑かつ重層的な問題を科学的に分析し、どのようなアプローチで解決にせまることができるかを探究する能力を養成します。

※各系の詳細は次ページ参照

3 ゆるやかに専門分化していく4年間

入学当初は幅広く教養を培う全学共通科目を履修し、年次進行にあわせ、教育学部の専門基礎科目や専門科目に移行していきます。その間、幅広い視野や複眼的な思考力の獲得を目指し、他学部が開講している専門科目の履修も推奨しています。

1年次 必修専門科目の「教育研究入門」、推奨科目の「情報学」などを履修します。また、教職科目はもとより、教育学部の教員は全学共通科目の諸講義や少人数教育科目群「ILASセミナー」なども担当しており、これらを履修するのも有益です。

2年次 教育学部の専門基礎科目を主に履修します。あわせて3年次の系分属を意識しながら、専門分野への興味・関心や自身の適性を見定めます。

3年次 現代教育基礎学系、教育心理学系、相関教育システム論系、いずれかの系に分属し、各専門科目を学びます。

4年次 学びの集大成となる卒業論文を作成します。大学院に進学する学生にとっては、卒業論文の作成が研究者の道を行く第一歩となります。



教育学部が望む学生像

20世紀は教育が学校中心に機能した学校教育社会でした。しかし21世紀は学校だけでなく、社会のさまざまな場所と一人ひとりの人生のさまざまな局面において、人間形成の営みがゆるやかにネットワーク化される「人間形成社会」が出現しつつあります。これからの教育学は、この「人間形成社会」の展開過程で必要になる新たな知と技法の創出が求められます。そのため教育学部では、心と人間と社会について、深い関心と洞察力をもち、柔軟な思考と豊かな想像力に富む学生を求めています。

現代教育基礎学系

現代の教育が抱える複雑な課題を多様な観点から解明する

学校の在り方に関心がある人、カリキュラムや授業・評価の開発を目指す人、胎児期からの心の発達や障害に関心をもつ人、教育の問題を歴史的に研究したい人、教育を哲学的に深く考えたい人、そうした人たちが学ぶ系です。

●**教育哲学・教育史学** 何のために教育は必要か、どのような学校が望ましいか、教育が抱える多様な問題を哲学や歴史学の観点から分析します。学校教育制度や教育に対する考え方の歴史的な成立過程、時代による変遷などについても探究し、新たな学習や教育の姿を提示するための知識や方法論を身につけます。

●**教育方法学・発達科学** カリキュラム・授業・評価に関する理論と実践の蓄積に学びます。また、人間の「身体―脳―心―行動」の発達とその多様性のメカニズムを科学的に理解する発達科学のアプローチにより、個別型の発達・教育支援法の開発を目指します。

●**教育人間学・臨床教育学** 芸術、身体、言語など、教育の多様なテーマについて、主として思想研究の手法から考察します。また、それらを通じて“ことば”に対する感受性を育て、フィールドに立って考える力を身につけます。



教育心理学系

心の仕組みと働きに関する幅広い識見と柔軟な思考力を育む

「教育心理学系」では、心の仕組みと働きに関する幅広い識見と柔軟な思考力を育成します。あわせて教育・認知心理学、臨床心理学を主とする充実したカリキュラムを組み、他学部等の心理学系教室・教員とも連携しながら活発な教育・研究活動に取り組みます。

●**教育・認知心理学** 記憶、言語、推論、意思決定、知能、他者理解、共感、社会的認知といった高次認知過程の側面に関する主要な理論や知見を学びます。また、それらの発達の特徴や教授・学習法、動機づけ、メディアやコンピュータの活用など、教育活動と密に関わる心理学の諸側面の知識の習得と応用を目指します。あわせて心理実験・調査やデータ解析などの手法を身につけ、心理学の研究に取り組む基盤を得ていきます。

●**臨床心理学** 心に関する対人支援に向けた専門知識と技能を身につけることを目指し、自己理解を深めつつ、面接や遊戯などの心理療法、心理査定技法や調査の方法、描画や箱庭といったイメージ表現の理解法などを学びます。こうした専門知識と技能が卒業後、さまざまな仕事や社会行動で活かせるのはもちろん、大学院・修士課程での臨床心理士・公認心理師取得につながります。



関連教育システム論系

教育と社会の結びつきを次代に向けて創造的に探究する

21世紀は学校だけが教育に関わるのではなく、社会全体が人間形成の場となり、そうした社会における教育の柔軟な在り方やネットワーク化が課題になっています。「関連教育システム論系」では、こうした考え方を視野に入れ、教育と社会の結びつきを創造的に探究することを目的に学習します。そのために次代の社会と人間に求められる重要な課題を意識したカリキュラムを提供し、少人数制のゼミや講義をはじめとする特色ある指導を行います。

●**教育社会学** 人間の社会形成に関わる集団の教育作用について研究すると共に、青少年問題、犯罪・非行からの離脱、児童虐待などの諸課題を社会学的な観点から分析・考察する力を養います。

●**メディア文化学・図書館情報学** 世論を生み出す広範なメディア現象、また図書館を通じた情報の生成・流通・消費を分析することから、社会と文化を歴史的に読み解く研究を行います。

●**文化政策学・社会教育学** 広く人間とその社会が構築されてきた歴史を、多様な文化の取り扱いやその背景にある議論、学校教育を超えた学びの在り方を通じて考える視点を習得します。

●**比較教育学・教育政策学** 各国の教育制度、政策、実践、理論などを理解する国際的な視野と考え方を学ぶと共に、政策科学的な観点から教育の行財政制度と具体的な政策立案について学習します。



Curriculum Tree

教育学部教育科学科

現代教育基礎学系

- 教育原論／教育人間学／教育史学／教育方法学／教育課程論／授業論／生徒指導論／発達教育論／発達科学／障害児教育論

教育心理学系

- 教育心理学／認知心理学／臨床心理学／人格心理学／発達心理学／メディア教育／児童・青年心理学／障害児心理学／社会心理学／教育評価

関連教育システム論系

- 教育社会学／文化社会学／歴史社会学／犯罪社会学／家族社会学／福祉社会学／メディア文化学／文化政策学／図書館情報学／社会教育学／比較教育学／教育行政学／教育制度／教育財政学

教育学は多様な視点の交差点。 あなたの生きる未来を あなた自身で描く場所

教育学部 / 大学院教育学研究科
明和 政子 教授



次の世代が生きる未来社会をどのように描くのか。この問いに対峙するのが教育学部のミッションです。発達や学習方法などの「個人」の成長に関わることはもちろん、学校教育の歴史や教育制度の在り方など「社会」のダイナミズムもその範疇です。

人類の未来を想像するとき、避けておれないのが地球環境問題や貧困問題などのグローバル課題。技術や理論、政治、歴史などの時空間が混じりあうこうした課題は、一つの学問領域の枠から眺めるだけでは、問題の本質や解決策を見出すことはできません。多様な視点を総動員して、新たなアプローチを創る必要があるのです。

教育学部は、人間の本质を理解するための思考を深めることのできる場。自然科学を主軸としてヒトの脳や心の解明を目指す基礎研究から、実際の教育現場での指導法や社会システムの設計を考える応用研究など、多彩な研究にふれられます。たとえば、腸内細菌のパターンは3歳までには決まり、それは脳や心の発達に影響することが最近わかってきました。子どもたちにとって真に適切な環境とは何かを理解することで、エビデンスに基づく現場応用への議論が可能になるのです。

今、私たちが生きる社会で対立や分断が深まっています。解決の鍵は「科学的エビデンス」。それは、多様な価値観からの合意形成を導く羅針盤となります。もうひとつ大事にしたい視点は、「共感する力」。ヒトは相手の立場にたって共感する脳を、進化の過程で獲得してきました。立場が異なる者に対して共感し、対立を乗り越える力をもっているのです。人間の本质を教育学部で学び、課題の解決を目指してほしいと思います。

次世代が見る社会は、今、私たち教員が見ている社会とは異なるものとなっていくでしょう。教員から知識を得るだけでなく、自分の感性を大事にして世界を見つめてみてください。「自分たちの未来は自分たちでつくる」。この意識で、未来人類の幸福に資する学問領域を拓いてほしいと願っています。

先輩が教える 京都大学の魅力

卒業生

京都大学大学院教育学研究科 助教
2023年3月 教育学研究科博士後期課程
研究指導認定退学

一言で言い表せない「教育」の魅力 学問の深淵さと幅広さに出会う

私はもともと京都大学の教育学部で学べる心理学に興味を持っていました。入学してみると、「心理学」とひとくちにいても様々な分野があることを知り、ぐっと興味の幅が広く、また深くなる体験をしました。さらに、幅広く「教育」について学ぶことで、人が生きていくための土台をどのように築くのかということについて考えることができました。教育学部での学びは、間違いなく今の私の土台になっていると思います。



水野 鮎子さん
石川県
石川県立金沢泉丘高等学校 出身

卒業後の進路

■進学 例年3割ほどの学生が本学「教育学研究科」などの大学院に進学します。中学校や高校の教職に就く学生も少なくありませんが、文部科学省や法務省をはじめとする官公庁の他、マスコミや出版、金融・保険や各種メーカー、サービス業など、就職先は多岐にわたります。

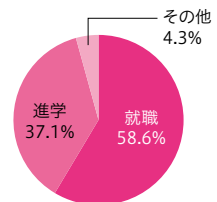
■就職先の例 阪急阪神ホールディングス(株)/ (株)ミハウス/ソニー生命保険(株)/岐阜県教育委員会/ (株)ニトリ/京都市立修学院小学校/西日本電信電話(株)/三菱マテリアル(株)/帝人(株)/京都家庭裁判所/日本製鉄(株)/ (株)ディー・エヌ・エー/兵庫労働局/大和証券(株)/ (株)カプコン/日本航空(株)/オリックス生命保険(株)/学校法人河合塾/栃木県庁/京都市役所/ (株)商船三井/ (株)ベネッセコーポレーション/京都大学/日本電気硝子(株)/日本証券金融(株)/ (株)電通/防衛省/大阪地方裁判所 など

■取得可能な資格 【公認心理師試験の受験資格】
公認心理師法に定める公認心理師の資格を得るためには、国が実施する公認心理師試験に合格する必要がありますが、本学部・研究科の修学期間内に、同試験への受験資格を得るために必要な科目を履修することができます。具体的には、文部科学省令・厚生労働省令に定められている科目を、大学(学部)及び大学院(研究科)においてそれぞれ履修し必要単位を修得する等により、受験資格を得ることができます。

■取得可能な教育職員免許の種類と教科

中学校一種……社会
高等学校一種……地理歴史/公民
特別支援学校教諭一種……聴覚障害者・知的障害者・
肢体不自由者

2022年度
卒業生の状況



大学院の紹介

大学院教育学研究科 教育学研究科が担う 人材育成

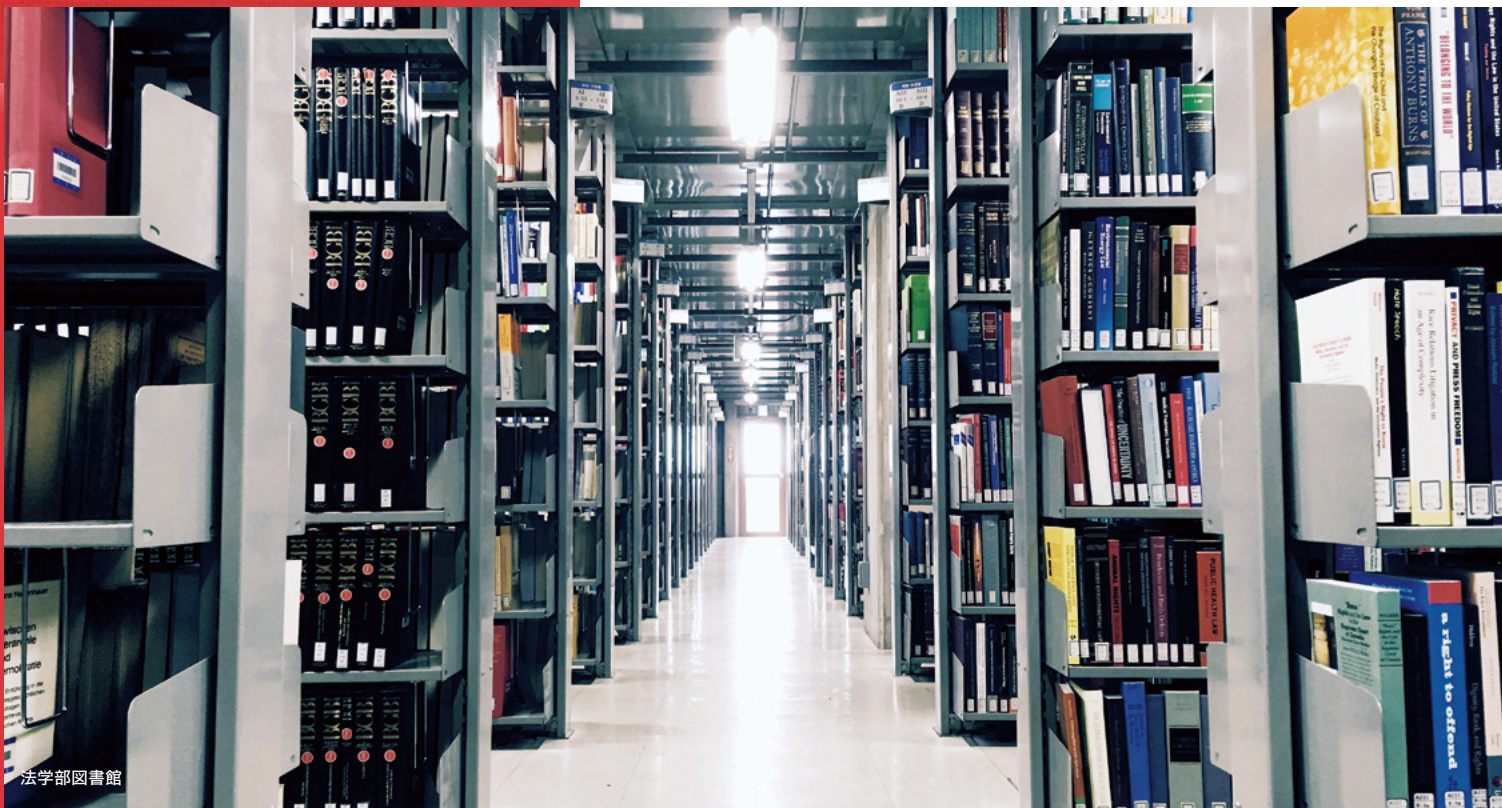


少子高齢化の進展、地球温暖化問題、世界情勢の緊迫化、そして新型コロナウイルス感染症の世界的大流行など、今、私たちはかつてないほど困難な問題に直面しています。それらの課題解決に科学技術が果敢に挑戦し、未来社会の展望を切り拓いていくことが求められていますが、そのためには、あらゆる分野の知見を総合的に活用して諸課題に向き合うことが不可欠です。本研究科は、人間の思想や歴史、生き方や行動、文化などを追求する人文科学、社会の仕組みや動きを解明する社会科学、人間の身体や脳、心に関する人間科学などの多様なアプローチから「人間とは何か」という基本的命題を探究し、現代社会の諸問題を解決しうる知の創出を目指しています。その基本となる活動は、「理論とフィールド(場)との往還」です。基礎研究の成果を場にフィードバックし、さらにその結果を基礎研究により検証するループを繰り返します。こうした過程を通じて、一人ひとりが多様な幸せ(well-being)を実現できる社会を築くトッパーリーダーを育成します。

法学部

Faculty of Law

目標を見定め、幅広い選択肢から
自らの「学びのかたち」を選びとり、
知識を組み合わせる構想力と
国家や社会を見直す大局観を養う



法学部図書館

ここに注目

約39,700名の有為な人材を輩出

法学部は1899(明治32)年に法科大学として創設され、今日まで約39,700名の有為な人材を社会に輩出してきました。また、創設期の教授陣は自由な学問研究を尊重し、東京帝国大学とは異なる大学の在り方を模索しました。

法科大学院と公共政策大学院を設置

京都大学の法学部は戦後の経済・社会の急激な変容、文化・科学の著しい進展に対応し、講座数および教員数を拡充してきました。あわせて1992年から研究・教育の国際化・学際化・高度化に対応するため、それまで学部配置されていた講座を大学院に配置、大学院の教員が学部教育も担当しています。さらに2004年には法曹の養成を目的とした専門職大学院「法科大学院」を設置。2006年には経済学研究科と協力し、公共的な役割を担う高度専門職業人の養成を目的とした専門職大学院「公共政策大学院」を設置しました。

学生の自主的学習を奨励

創設当初、必修化された演習(ゼミ)は今も、重視されています。それは学びの選択肢に自由な余地を限りなく広げ、学生の自主的学習を奨励するという伝統となり、今も脈々と受け継がれています。

国家や社会を見直す大局観を養成

京都大学の法学部は国家や社会の在り方を見直すことに関わり、組織で指導的な役割を果たせる人材養成を目的としています。今日、世界も日本も大きな転換期を迎え、さまざまな問題をかかえています。こうした状況に向きあい、新しい制度を設計するためには、文化の多様性を尊重し、平和な社会の実現に貢献できる豊かな国際感覚を備え、法律や政治の仕組みに関する専門的な知識をもつとともに、社会全体を視野に入れ、知識を組み合わせる構想力や大局観を養わなければなりません。京都大学の法学部は、こうした能力を備えた人材を育成するために、豊かな教養と法律学・政治学の専門知を提供しています。



法学部の特徴

1 視野を広げる教養科目の充実

「教養科目」である「全学共通科目」は人文・社会科学科目群、自然科学科目群、統合科学科目群、外国語科目群、情報科学科目群等で構成されています。これら全学共通科目は4年間、どの学年でも履修できるようになっていますが、法学部では専門科目が主となる3年次までに学び、英語をふくむ外国語の運用能力や豊かな教養を培いつつ、視野を広げるようにしています。

2 年次進行にあわせて増える専門科目

「専門科目」は、内容に応じ、履修できる学年を定めています。1年次では、導入的な専門科目として法学入門、政治学入門、家族と法を履修します。また、憲法(統治機構)、憲法(基本権)、民法(総論・総則・親族)、刑法(総論)など法体系の全体像や基本の理解につながる科目も、3年次までに履修します。これ以外の専門科目は、3・4年次に配当されるものですが、政治学関連科目のほか、基礎法関連科目と公法・民刑事法関連科目の一部は、2年次でも履修できます。

3 特別科目や演習で社会変化に呼应

社会の全体像や動きを捉えるには経済学の知識も必要であり、法学部では経済学部の一部科目が履修できます。また、毎年かならず開講される基本的な専門科目に加え、新たな法律・政治現象、企業の法実務及び国際化などに呼应する特別科目も年度ごとに開講しています。さらに、1年次に配当される法学政治学基礎演習、3・4年次に配当される演習(ゼミ)では、少人数クラスで周到な予習にもとづく活発な討論が行われています。

4 自由度の高い科目選択と主体的学習

専門科目に“必修”設定がないのも京都大学・法学部の特色です。その主旨は「自身の将来は自身で設計する」という考え方にあり、自分がどのような科目を選択し、どのような学習計画を構築するか、すべて学生各自の主体性に任されています。※堅実な学習を促すため、各学期(セメスター)に履修登録できる単位数には上限を設けています(キャップ制)。

5 法科大学院への早期進学之道も

法学部では、特に意欲がある法曹志望者のために、京都大学法科大学院の教育課程と連携した「法曹基礎プログラム」を用意しています。3年次の終わりに、成績優秀、必修科目履修等の同プログラムの修了要件を満たしている場合は、法学部を3年間で早期卒業して法科大学院に進学することも認められます。



法学部が望む学生像

法学部では、世界・国家・社会のさまざまな問題に対する強い関心を持ち、多方面にわたる学力、とりわけ社会科学に関する基礎的な学力を備え、論理的思考力に優れた学生を求めています。

専門科目の紹介

専門科目

法体系の全体像と基本を捉え、新たな制度設計や社会実践につなげる

京都大学の法学部では次の専門科目を選択履修していきます。

- 法学領域 法理学/法社会学/日本法制史/西洋法制史/ローマ法/東洋法史/英米法概論/ドイツ法/フランス法/憲法(統治機構)/憲法(基本権)/憲法(総論・憲法訴訟)/行政法(総論)/行政法(行政訴訟)/行政法(国家補償)/租税法/国際法(総論・領域)/国際法(对人管轄・紛争)/国際機構法/民法(総論・総則・親族)/民法(物権)/民法(債権総論・相続)/民法(債権各論)/商法(会社)/商法(総則・商行為)/商法(手形)/経済法/知的財産法/民事訴訟法/国際私法/国際取引法/労働法/社会保障法/刑法(総論)/刑法(各論)/刑事訴訟法/刑事学/法学入門/家族と法
- 政治学領域 政治原論/政治過程論/比較政治学/アメリカ政治/国際政治学/国際政治経済分析/政治史/日本政治外交史/政治思想史/行政学/公共政策/政治学入門Ⅰ/政治学入門Ⅱ
- 法学政治学基礎演習A・B
- 外国文献研究(英・独・仏)

- 特別講義 情報と法/上場会社の法規制/倒産処理法(総論・法人破産)/倒産処理法(再生・更生・個人破産)/民事執行・保全法/日本政治思想史/外交史/Introduction to European Law/Japanese Politics from a Comparative Perspective/International History 1900 to the Present/現代社会と弁護士(弁護士法人大江橋法律事務所寄附講義)/現代社会と裁判/生命保険の実務と法(日本生命保険相互会社寄附講義)/金融法と銀行実務(株式会社三井住友銀行寄附講義)/信託法の理論と実務(三井住友信託銀行株式会社寄附講義)/国際企業取引の実務と法(住友商事株式会社寄附講義)
- 経済関係科目 ミクロ経済学1/ミクロ経済学2/社会経済学1/財政学/金融論/経済史/会計学/金融政策/経済政策論/租税法/経済統計学/企業分析/経済学史/日本経済史/欧米経済史/社会政策論

演習(ゼミ)

法学部の創設当初から重要視されてきた演習(ゼミ)では、徹底した少人数制と周到的な予習に基づき、活発な議論・討論に取り組みます。

- 法学領域 法社会学/日本法制史/ローマ法/東洋法史/ドイツ法/憲法/行政法/租税法/国際法/国際機構法/民法/商法/経済法/知的財産法/民事訴訟法/国際私法/国際取引法/労働法/社会保障法/刑法/刑事訴訟法/刑事学
- 政治学領域 政治原論/政治過程論/比較政治学/アメリカ政治/国際政治学/国際政治経済分析/政治史/日本政治外交史/政治思想史/行政学



京都大学 法学部の4年間

1年次

- 入学式 京都大学全体の入学式終了後、歴史ある法経第四教室で厳かな雰囲気による法学部だけの入学式も行われます。
- 始業・履修登録 ガイダンスや先輩のアドバイスなどを参考にしながら、自分自身の“時間割”をつくります。
- クラス分け 8つあるクラス分けが発表されます。1年次で主に学ぶ教養科目や以降の専門科目はすべて選択制ですが、語学の授業はクラス単位で受講します。
- 前期試験 夏休み前の7月・8月、京大生として初めての定期試験が行われます。
- 11月祭 クラスやクラブ・サークルで出展(出店)します。仲間との一体感が生まれる場でもあります。
- 後期試験 春休み前の1月・2月、後期試験が行われます。1年間の学びの成果が問われます。

2年次

- 新入生歓迎会 後輩を迎え、アドバイスをする立場に。学業、クラブ・サークル、アルバイト、多忙だけれど充実した毎日を過ごします。
- 専門科目の履修 1年次では少なかった専門科目が増え、憲法や民法、刑法などの法学基礎科目に取り組みながら、リーガルマインドを養います。
- 法学専門サークル 法学部サークル連合(略称:法サ連)という法学・政治学に関するサークルに入学したり、課外で専門的な活動を行う学生も増えていきます。
- 演習(ゼミ)登録 これまでの学びを通じて抱いた興味・関心に基づき、12月に3年次の演習(ゼミ)登録を行います。
- 将来設計 登録したゼミをふくめ、今後の専攻分野や将来の進路について、自身の適性や可能性を探っていきます。

3年次

- 演習(ゼミ) 法学部の創設当初から重要視されているゼミでの学びがスタート。授業時間に関わらず、議論・討論は尽きません。
- 海外留学 視野を世界に広げることを目的に、交流協定を結ぶ海外諸大学への留学は、2・3年次が好機です。
- 進路選択 この時期、インターンシップに取り組む学生も少なくありません。そうした経験に基づき、就職か法科大学院などへの進学か、進路を見定めるのもこの時期です。
- 進学準備 法科大学院や公共政策大学院への進学を決めた学生は、試験準備を開始します。
- 就職活動準備 就職を選ぶ学生は企業説明会への出席など、就職活動の準備を始めます。

4年次

- 進路活動 法科大学院や公務員を志望する学生は各試験に向けた勉強に、一般企業を志望する学生は就職活動に、それぞれ懸命に励みます。
- 省庁まわり 公務員試験を経て、国家公務員総合職の合格者は東京の各省庁を訪問し、志望意志を固めます。
- 法科大学院合格発表 合格はゴールではなく、法曹へのスタート地点。あらためて気を引き締め直し、学び続ける姿勢を保ちます。
- 最後の期末試験 大学院への進学、省庁への入庁、企業への就職、卒業後の雄飛に向けて、最後の期末試験で4年間の成果を示します。
- 卒業式 充実した4年間で振り返りながら、仲間や恩師と今後の活躍、社会貢献を誓い合います。

法律を比較して知る他国の 価値観。「違い」を恐れず 飛び出してこそ学びは深まる

法学部/大学院法学研究科
コツィオール・ガブリエーレ 教授



法律にも国によって性格があるのをご存じでしょうか。私の専門は各国の法体系を比較する比較法学。知的財産法や物権法、債権法などを対象に、故郷のオーストリア、学生時代をすごしたドイツ、そしてここ日本の三か国の民法を比較研究しています。たとえば、ドイツの民法では細かくルールが定められているのに対し、オーストリアの民法は成立年代が古いので少ない条項での柔軟な対応に慣れている。日本の法律は他国の法律のよいところを集めた性格をしています。

目下の関心は債権法と物権法の違いです。債権は金銭の支払など当事者間だけで有効なのに対し、所有権をはじめとする物権はすべての人に主張できるなど、一見区別は明確です。しかし、例えば著作権などの知的財産権は、オーストリアでは「物」とされているので、物権の問題となるのに対し、ドイツや日本では「物」は有体物に限られているので、物権としては扱われません。このように、物権と債権どちらと考えるのかについて立場が分かれるような問題もあります。その曖昧な部分にこそ、だれの利益をどのような理由から保護するのかという考え方の違いが表れるのです。

比較をととして「他国ではどう考えるのか」に迫るのが比較法学の

最大の魅力です。人が暮らしている以上、世界のどこでも似たような問題は起きますが、個別の事例を紐解いてゆけば法体系や法文化、法制定の歴史的経緯など、法律をめぐる国ごとの思考の枠組みが浮かび上がる。自分たちの社会に足りない視点に気づけるのももちろんのこと、国同士が互いの価値観を理解しあい距離を縮めることにも貢献できると考えています。

高校生のころにヨーロッパの言語とはまったく違う日本語に惹かれたことが日本との縁のはじまりでした。大学で国際協力への関心をきっかけに比較法学に会い、日本の法制度を学びに京都に留学。日本の学生の勉強熱心さはカルチャーショックでした(笑)。ただし、大学での学びは熱心さとおなじくらい、みずからの殻を破る積極性も必要。なんでも「とりあえず挑戦してみよう!」と気軽な気持ちで飛び出すことで見えてくる景色があります。「違い」を恐れずに多様な価値観にふれることで幅のひろい人間力が養えるはずですよ。

先輩が教える 京都大学の魅力

卒業生 京都大学大学院法学研究科
法曹養成専攻(法科大学院)3回生
2022年3月 法学部卒業

多様な履修科目と充実した制度で 自分だけの学びを追求

法律という社会形成の基盤となる仕組みに関心があったこと、また就職に有利な印象があったことから、法学部に進学しました。京大法学部では、法学に限らず政治学系の科目も自由に履修することができます。同じ法学部生でも、学びたい分野がそれぞれ異なる点も魅力の1つです。留学制度も非常に充実しています。私自身も、長期休みの台湾への短期留学、スイスへの交換留学の経験から、日本のあり方を相対化する複眼的な視点を身につけることができました。



後藤 あいさん
大阪府
大阪府立天王寺高等学校 出身

卒業後の進路

■概要 国家・地方公務員、民間企業、法科大学院をふくむ大学院への進学など、進路は多岐にわたります。大学院に進学する学生の約8割は、京都大学をはじめとする全国の法科大学院に進んでいます。また、京都大学公共政策大学院は例年、入学者の約2割が本学部の出身です。民間企業への就職先は、従来主流だった金融・保険業に限らず、幅広い業種・業界にわたっています。

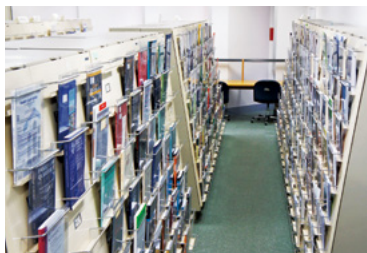
■就職先の例 日本銀行/三菱UFJ銀行/農林中央金庫/日本生命保険相互会社/明治安田生命保険相互会社/東京海上日動火災保険(株)/近鉄グループホールディングス(株)/大阪瓦斯(株)/KDDI(株)/西日本電信電話(株)/阪急阪神ホールディングス(株)/ソニーグループ(株)/キーエンス/丸紅(株)/三井物産(株)/双日(株)/楽天グループ(株)/EYストラテジー・アンド・コンサルティング(株)/ペイン・アンド・カンパニー・ジャパン・インコーポレイテッド/㈱ペイカレント・コンサルティング/有限責任あずさ監査法人/㈱野村総合研究所 など

■取得可能な資格 法学部では、教育職員免許状の取得を目的とした教職課程を設けています。

■取得可能な教育職員免許の種類と教科
高等学校一種……公民

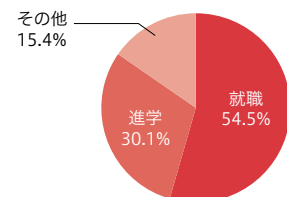
大学院の紹介

大学院法学研究科 法学・政治学の研究者や 専門職業人を目指す



法学研究科法政理論専攻では、広い視野に立って精深な学識を修め、原理的問題と現代社会への関心を備えた研究者や専門職業人としての修養を積む教育が行われています。修士課程は研究者養成コースと先端法務コースに分かれ、前者は法学政治学の精深な学識を修得し、多角的視点から創造的な研究を行える優れた研究能力を得ること、後者は企業法務を中心に高度に専門的な職業を担う能力を得ることを目指します。博士後期課程は、広い視野と多面的・多角的な視点から独創的な研究を行い、研究成果を国内外に発信できる卓越した研究能力を得ること、また高度専門職業人となりうる精深な学識を得ることを目指します。法政理論専攻の修了者には、高等教育機関における教育研究または高度に専門的な職業に従事し指導的な役割を果たす途が開かれています。

2022年度 卒業生の状況



経済学部

Faculty of Economics

■ 経済経営学科

未来を切り拓く

柔軟な思考力と豊かな創造力を培う



注目

▶ 経済学と歩んで100年

経済学部は1919(大正8)年に法学部(法科大学)から分かれて誕生しました。2019年には100周年を迎えた、日本で最も古い経済学部の一つです。この長い歴史のなかで京都大学経済学部は、多数の著名な研究者、個性的な実業界のリーダーや各方面で活躍する優れた人材を送り出してきました。さらに革新を求め、絶えず先端的な分野の拡充をはかってきました。本学部の特色は、京都という地域に相応しい「伝統と革新」、そして京都大学の先人たちに共有されてきたリベラルな知的雰囲気にあります。

▶ 経済の未来と対話

経済学部は、「自由の学風」のもと、経済学・経営学の立場から、経済活動や企業活動を考えるだけでなく、個人や社会の厚生を考える学問をする場です。自学自習を基本精神として、財政、産業、雇用、金融、地球環境、国際市場、経済発展などの複雑で多様な問題について歴史・思想などを根底から学び、その解決策を考えます。経済学や経営学の専門科目だけでなく幅広い分野から自主的に選択し自由に学ぶこと

ができます。また、大学院との共通科目や社会人講師による実践的講義も開講しています。

さらに、本学部では創立以来、演習(ゼミナール)制度を重視し、少人数の学生と担当教員による対話型学習システムをつくってきました。演習では指導教員のもとで少人数の学生同士でこうした諸問題に関するテーマを学び、報告、検討しながら問題の本質を捉えるべく対話的学習をします。

▶ 多様性と国際性

経済学部は、理系入試や特色入試をはじめ、外国学校出身者入試、3年次編入学入試など国立大学の中で先んじて多様な入試制度を導入してきました。それによりさまざまなバックグラウンドを持つ学生同士が刺激しあいながら切磋琢磨し、豊かな教養と人間性、国際感覚を身につけることを目指しています。

本学部では交流協定締結校への学生派遣に応募することができます。多くの学生が英語圏のみならず多様な国や地域への留学を経験しています。本学部独自の学生交流協定制度を積極的に活用して世界の大学へ留学し、自分の可能性をどんどん広げてください。



経済学部の特徴

1 経済学と経営学の融合

国内外の経済の複雑化、企業経営の変容を踏まえ、経済学と経営学の関連性を重視して、1学科制を採用しています。経済学、経営学およびそれらの隣接領域を総合的に学習することができ、幅広い知識と深い思考力を身につけることができるよう配慮しています。

2 学士・修士5年プログラム

修士課程の科目を早期履修することで、学部・修士課程を通常より1年短縮し、通算5年で修了することができます。それにより、早期に研究者としてのキャリアをスタートさせることも、高度な専門知識を必要とする職に就くことも可能になります。

3 体系的履修と少人数教育

関心と進路に応じて体系的に専門知識を修得することができます。少人数教育は演習を通じて行われ、指導教員と学生がテーマごとに議論を交わす対話型学習により、柔軟な思考力と創造性を養います。

4 経済界との産学連携

学外より実務の第一線で活躍する方々を迎え、実践的な教育や研究をしています。実務家と接することで、金融市場や地域経済、地球環境やエネルギーの問題にふれ、現代経済に対する理解を深めます。



経済学部が望む学生像

京都大学経済学部は、経済学・経営学的分析能力を修得できる知力と探究心を持ち、かつ、教員や他の学生と積極的に討論を重ねることにより、自主的に考え創造的な提案が行える人材に成長できる学生を求めており、以下のような学生の入学を期待しています。

- 高等学校教育を通じて広範で高度な基礎知識を身につけるとともに、論理的思考力ならびに語学能力を修得している人
- 社会・経済活動全般に積極的に関与したいと考える、知的好奇心が旺盛な人

このような学生を選択するために高等学校の文系教育課程に対応した一般学力検査による選抜(190名)だけでなく、理系の教育課程に対応した学力検査による選抜(25名)や特色入試(25名)等を導入しています。

9つの入門科目

経済学と経営学を横断して学ぶために双方の基礎と土台を固める

京都大学の経済学部は、かつての経済学科と経営学科を統合した経済経営学科の1学科制であり、社会で密に関連しあう両学問を横断して学びます。ただし、それには経済学と経営学、双方の基礎を固める必要があり、1年次に9つの入門科目を学びます(以下は各科目の学問概説)。

ミクロ経済学

「ミクロ経済学」は市場のメカニズムに基づき、経済行動を分析する学問です。ミクロ経済学の起源は19世紀から20世紀にかけて登場した最大化原理を基礎におく完全競争モデルです。しかし現代経済は巨大企業の寡占化の様相が強く、完全競争モデルの虚構性が指摘されています。

そこで登場したのが、将棋などにたとえて意思を戦略的に決定していく「ゲーム理論」です。現代ミクロ経済学は、このゲーム理論を中心に据えることで、医療・福祉経済学、マーケティング経済学、情報・通信経済学、都市・交通経済学、企業・組織経済学、環境経済学など、最先端をいく応用経済学の基礎ツールとなっています。

経営学

「経営学」は幅広く、経営現象を研究する学問です。「経営」とはある目的を達成しようとする事業について、それを計画・指揮・管理する活動です。その対象は従来、民間企業が中心でしたが、近年は病院や政府、地方自治体やNPOなど、経営の質が問われる社会的事業体にも広がっています。また、企業においても自社の利潤追求だけでなく、ステークホルダーとよばれる多くの人びとに利益をもたらすことが求められ、その経営システムは複雑化する一方です。その最適解を研究する経営学の理論体系も複雑化しています。このように実践の場でも、理論研究の場でも、難問・難題が山積していますが、そこに〈経営する〉醍醐味があるのも事実です。

統計学1

統計学はかつて、国家為政者へ行政に必要な資料を提供するためにあり、その目的は人口、所得、耕地面積等の数値を収集・整理し、国力を測ることでした。ただし、現在はデータの幅も広くなり、行政はもとより商業、あるいは株式や為替といった投資の判断材料になるなど、さまざまな場で応用されています。

これらをふまえ、「統計学1」の授業では、記述統計学と数理統計学によって成り立つ2領域を主に学びます。記述統計学では物価指数など、実務で使用する多くのツールを学習します。数理統計学ではデータに関する多様な推定、仮説に関する検証を数学的に学びます。

マクロ経済学

「マクロ経済学」は経済活動を大きな視点から分析する経済学の1分野です。その大きな視点とは、分析対象が特定の個人、企業、産業の経済活動ではなく、国家経済や世界経済を見通すことを意味しています。そこで課題となるのは、なぜ経済は好況と不況を繰り返すのか、政府は景気の変動を抑制するためにどのような政策を採ればよいのか、なぜ先進国は産業構造の転換を果たし所得の増大を達成できたのか、それに対して多くの発展途上国が農業中心の経済構造から脱却できず低所得の状態にあるのはなぜなのか、等々の疑問です。マクロ経済学が取り組むのは、これらの疑問に正確な答えを与えることにはなりません。

会計学

「会計学」は〈事業の言語〉とよばれる会計を対象に発達した学問です。また、会計学は事業体の現象を正確に理解するとともに、望ましい会計について考える学問でもあります。

こうした会計は、社会会計・国民経済計算などの「マクロ会計」、家計・企業会計・非営利法人会計・公会計などの「ミクロ会計」、2つに大別されます。さらに会計情報の利用者ごと、企業外部の株主や債権者などに対する「財務会計」、経営者などのための「管理会計」、2つに分類されており、それぞれに対応するため、財務会計学と管理会計学、2つの学問分野が発達しています。

現代経済事情

人間の社会を扱う以上、経済学は経済的・社会的問題の解決という目的意識をつねにもつべきであり、その概念は「政策関心」と言い換えられます。「現代経済事情」で講義する経済政策論、財政学、金融論、社会政策論、世界経済論、公共経済学などには「現代の社会問題や経済問題を素材に考える」という共通項があります。また、経済問題に対しては通常、さまざまなアプローチがあり、複雑な社会現象そのものを理解するには、総合的・多面的な分析視角が必要です。「現代経済事情」の諸講義に共通する狙いは、現実の経済問題などへの感受性と複眼的な視点を養うことにあります。

社会経済学

「社会経済学」はスミス、リカード、マルクスなど、古典派と呼ばれる人たちの理論の総称でした。彼等は経済分野だけでなく、政治や文化などの分野にも広がる社会的視座をもつと共に、数世紀におよぶ歴史を考察する長期的視野をもっていました。しかし20世紀に入ると大量生産技術の成立といった技術面の変化、巨大企業の出現といった組織面の変化により、古典派経済理論の有効性は低下しました。こうした資本主義の変化をふまえ、新たな理論を創出したのがケインズとカレツキです。現代の社会経済学は、古典派経済学者たちの社会的歴史的視点とケインズおよびカレツキの理論を結合し、現代資本主義の構造や制度を分析していきます。

情報処理

「情報処理」は人間の意思決定活動であり、社会活動そのものです。また、インターネットやコンピュータなどの情報通信技術は、そうした活動を支える必要不可欠なツールです。さらに情報通信技術の急速な発展は社会を大きく変え、情報通信技術がなくては(知らなくては)企業の経営は成り立ちません。授業としての「情報処理」は経済学や経営学を学び、理解・分析するためだけに学ぶものではありません。コンピュータシミュレーションによって社会や組織を解析したり、あるいは未来を予測したり、経済学や経営学の根幹を見つめながら、通信をふくむ情報処理技術を習得していきます。

経済史・思想史

「温故知新」という言葉を知っていますか？そこには昔のことから新しいことを知るという意味があり、「経済史・思想史」はその意図をもつ学問です。また、経済史と思想史、ふたつの分野を並行して学ぶ意味は、現在の経済社会を歴史的に眺めることにあり、経済や社会に関する「忘れ去られた課題」を再発見し、あわせて「新しい課題」や「経済学のあり方」を構想していきます。たとえば、ある国が経済大国になる過程の分析からその秘訣や条件と問題点を学んだり、ある企業の発展・没落から経営とは何かを考えてみたり、人間が集団形成するときの諸問題を把握することで理想社会について提言したり、そうしたことに取り組みながら歴史的な発想法を身につけ、当然と思っていた日常から(新たな可能性)を発見する視座を養います。

教員
直伝

学問を
楽しむ
ヒント

のびのびと 学問に没頭できる学び場で 社会をシャープに分析する

経済学部 / 大学院経済学研究科
長谷川 誠 准教授

経済学は市場やお金に関することを扱う学問だと思われがちですが、あらゆる社会現象を固定概念や通念にとらわれずに明快に分析できることが経済学の魅力です。私が専門とする公共経済学の分野では、政府の役割や様々な政策の効果、そして望ましい政策のあり方を究明します。例えば、所得税制が結婚や出産のタイミングに与える影響など、一見すると経済とは無縁に思える意思決定も研究の対象となり、望ましい税制を考察することに役立ちます。

公共経済学は、経済学の基礎理論であるミクロ経済学や計量経済学の手法を応用して分析を行います。基礎科目で足元を固めた上で、講義では分析ツールとなる公共経済学の理論を身につけてもらいます。とはいえ抽象的な理論を解説するだけでは、学生は退屈に感じがち(笑)。そこで、身近な政策の話題や税制を分析したユニークな研究などを例に挙げて説明して、理論と現実社会との結びつきに気づいてもらえるように心がけています。試験では数式を用いて政策を分析するような問題を出題しますが、驚くほど緻密に理論立てて自分の考えを説明できる学生もいて、答案を読む私の方が驚くこともあります。



経済学の有用性や分析の面白さを実感できるようになるまでには、地道な努力が求められますが、大学生ならではの自由な発想と好奇心がその歩みを後押しするはずですよ。

大学での4年間を「社会に出るための準備期間」ととらえる考え方がありますが、政治や経済の中心から一歩離れた京都には、東京とは違う良さがあります。社会の動きに振り回されず、自分の興味や関心にじっくりと向き合えます。のびのびと探求できるこの学び場は、学生にとって何ものにも代えがたい貴重な環境です。

先輩が教える 京都大学の魅力

在校生 経済学部 経済経営学科
3年生

多種多様な授業形式で 経済学への理解がぐっと深まります

京都大学経済学部の魅力は、専門科目の選択肢の多さとゼミだと思えます。専門科目では、財政学や会計学など様々な分野の講義の中から自分の興味があるものを選んで受講するので、様々な分野の面白さに触れることができます。一方ゼミでは、1つの分野を少人数で学ぶので、1つの分野を深めることもできます。そのため、経済学を広くも深くも学ぶことができると感じます。



太田 裕佳さん
奈良県
帝塚山高等学校 出身

卒業後の進路

■概要 京都大学の経済学部は、学界のリーダーとなる多数の優れた研究者をはじめ、世界・実業界のトップリーダーも数多く輩出してきました。なお近年の大学院進学者は1割前後であり、9割前後が就職します。就職先としては、金融庁や外務省、会計検査院、総務省、日本銀行などの官公庁の他、金融・保険・証券業が主流でしたが、この数年は業種・業界を問わず幅広くなっています。

■就職先の例 (株)三井住友銀行/(株)三菱UFJ銀行 / 三井住友信託銀行(株) / 大和証券(株) / 野村証券(株) / SMBC日興証券(株) / デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー(同) / ボストン・コンサルティンググループ/マッキンゼー・アンド・カンパニー・インコーポレイテッド/ジャパン/伊藤忠商事(株) / 住友商事(株) / 丸紅(株) / 三井物産(株) / 三菱商事(株) / 日本生命保険(相) / アマゾンジャパン(同) / 東海旅客鉄道(株) / 有限責任監査法人トーマツ / アクセンチュア(株) / 丸エヌ・ティ・ティ・データ / 三井不動産(株) / (株)リクルート / 楽天グループ(株) / 大阪瓦斯(株) / (株)サイバーエージェント / (株)村田製作所 / 住友化学(株) / 厚生労働省 / 金融庁 / 各府県庁・市役所 など

大学院の紹介

大学院経済学研究科 100年の伝統に学び、 最先端を切り拓く知を養う

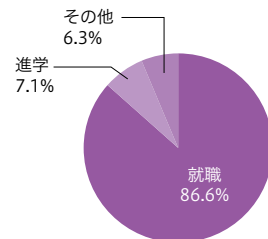


経済学研究科の修士課程には、博士の学位を目指す「研究者養成プログラム」、経済学の専門知識を備えた職業人を養成する「高度専門人材養成プログラム」、英語を共通言語とした「東アジア持続的経済発展研究コース」の3つのプログラムからなる経済学専攻と英語による教育を行う国際共同学位(ジョイント・ディグリー)課程である国際連携グローバル経済・地域創造専攻の2つの専攻があります。博士後期課程では、「研究者養成プログラム」、「東アジア持続的経済発展研究コース」の2つのプログラムにより研究者の養成を行っています。

また、研究科の特色として、ジョイント・ディグリーやダブル・ディグリーによるグローバル人材の育成にも取り組んでいます。

経済学という学問の知恵、知識、技術を通じて、現代社会の様々な課題に貢献することのできる人材を輩出することが本研究科の理念です。

2022年度 卒業生の状況



理学部

Faculty of Science

■ 理学科

自然への疑問に向きあいながら
自然の理(ことわり)を学ぶ



桜石(重曹石仮像)・日本地質学会が選定した京都府の石(鉱物)

注目

▶ 自然の〈秘密〉を解くことを楽しむ学部

自然はどのようにしているのか、なぜ自然はそうのように成り立っているのか、自然を動かす法則は何なのか、私たち人間はつねづねこのような疑問を抱きます。京都大学の理学部は、誰も答えを教えてくれない自然への疑問をもつ人たちが集まり、自然の声に耳を傾けながら疑問を解いていくとともに、どこまでも深い自然の〈秘密〉を探り続けることを楽しむ学部です。

▶ 従来の枠組みにとらわれない人材を育成

京都大学の理学部は理学科のみの1学科制です。この制度の意図は、分野・領域が多岐にわたる理学を学ぶ過程で発見した自身の適性に応じた専門選択を可能にするためであり、あわせてそうした自由性により、従来の学問分野の枠組みにとらわれない人材を育成することも狙っています。

▶ 教育の基本方針は個々の意欲の尊重

京都大学の理学部では3年次から5学系のいずれかに選択所属し、少人数でのゼミや実験・実習などの研究活動を通じて専門知を獲得します。その間、もっとも大切なのは〈自ら学ぶ意欲〉にほかなく、その尊重と伸長を教育の基本方針としています。

▶ 数多くの独創的な研究者を輩出

京都大学の理学部はノーベル賞やフィールズ賞など、国際的トップレベルの賞の受賞者をふくめ、これまで数多くの著名かつ独創的な研究者を輩出してきました。あわせて、自ら開拓した新たな研究分野に挑み続ける〈革新〉の伝統はいまも息づいています。こうした学問の創造や開拓は、研究・教育への自由性が育んだ結果です。現在、計画・遂行されている新たな研究プロジェクトも数多く、学生の教育にフィードバックされる先端知も決して少なくありません。



理学部の特徴

1 明確な目標に基づく創造性の養成

京都大学の理学部は、学生を次代の自然科学を担う人材に育むことをめざし、2つの具体的な教育目標を掲げています。

①自然科学の基礎体系を深く習得し、それを創造的に展開する能力を養成する。

②個々の知識を総合化し、新たな知的価値を創出する能力を養成する。この教育目標に基づき、自由な雰囲気による学問創造と自律学習を促しながら、理学科のみの1学科制ならではの〈緩やかな専門化〉を経て、研究の最前線へと向かいます。

2 当初2年間で教養と専門性の基礎を培う

京都大学の理学部では1年次から2年次にかけて、教養教育を軸とする「全学共通科目」を主に学び、あわせて学部「専門基礎科目」を履修します。「全学共通科目」は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群、情報科学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群、計8科目群に分類されています(自然科学科目群には理学部教員が担当する科目も多数です)。学部「専門基礎科目」は3年次から所属する学系での専門的な学びや研究の土台になります。こうした2年間に、高度な専門分野を学ぶための基礎を養うとともに、幅広い学問にふれることで豊かな教養を身につけ、人間的視野を広げます。

3 自然科学の先端知を獲得する5学系

2年次の終わりに選択・登録し、3年次から所属する5学系は、それぞれ概ね次のような専門分野と対応しています。また、各学系では演習(ゼミ)や実験・実習をふくむ専門科目を履修、京都大学の理学部が蓄積してきた先端知の獲得をめざして学びます。

- 数理解析学系……数学 ●物理科学系……物理学/宇宙物理学
 - 地球惑星科学系……地球物理学/地質学鉱物学
 - 化学系……化学 ●生物科学系……動物学/植物学/生物物理学
- ※各学系の詳細は28ページ参照

4 卒業研究に取り組む4年次

4年次の卒業研究は必修となっており、課題研究に取り組みます。その際、学生は担当教員から個別に指導を受け、研究手法を身につけながら課題を追究し、その結果をまとめる能力を養います。これらを通じ、より高度な専門研究への意欲を高めることを期待しています。

5 学部3年次の修了による大学院進学

理学部と接続する大学院「理学研究科」の数学・数理解析専攻と化学専攻では、大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績で修得したと理学研究科が認めた者には、大学院修士課程の出願を認めています。また、博士後期課程で特に優れた研究成果を挙げた者については、修士課程と通算5年未満の在学で博士の学位が授与されることがあります。

理学部が望む学生像

- 自由を尊重し、既成の概念を無批判に受け入れることなく、自ら考え、新しい知を吸収し創造する姿勢をもつ人。
- 高等学校の教育課程により培われる十分な科学的素養、論理的合理的思考力と語学能力を有し、粘り強く問題解決を試みる人。

5学系の紹介

数理学系

高等数学の基礎を学びつつ最新の数学理論も探究する

数学は、数、図形、数量の変化などの背後にある法則の解明をめざす学問であり、永年におよぶ時間をかけて、確固とした体系を築いてきました。その一方で、現在でも多くの新しい問題が数学の内部から、あるいは物理学、地球惑星科学、化学、生物科学などの他科学から続々と生じ、それらを解明するための新たな理論が創出されています。また、普遍的な性質をもつ数学は、自然科学はもちろん、情報科学や経済学など、多くの分野とも密につながっています。これらを背景に「数理学系」では、20世紀前半までに確立した代数学、幾何学、解析学の基礎を広く学習するとともに、最新の数学理論も探求します。

物理科学系

理論・実験・観測を並行しながら幅広い研究と教育を展開

物理学は自然界の普遍的な法則を明らかにし、物質の種類や時間・空間・エネルギーのスケールのちがいによって生じる多様な現象を統一理解することをめざしています。これを前提に「物理科学系」は3教室に分かれています。第一教室では主に量子や物質、それらの集団を支配する物理法則を、第二教室では時空の基本構造から素粒子、原子核、重力、宇宙論までについて、宇宙物理学教室では太陽から最遠方銀河まで宇宙の多様なスケールの諸現象について、それぞれ理論、実験、観測等を並行しながら幅広い研究と教育を行っています。

地球惑星科学系

身近な疑問だけれど深遠で遙かな事象の教育・研究に挑む

「地球惑星科学系」は私たちが生活する地球、その地球を取り巻く惑星間の空間、これらを研究対象としています。ターゲットは幅広く、雲の動きを引き起こす大気の流れ、大量の熱を蓄えている海の流れ、地震を起こし火山をつくる地球内部の変動、オーロラをもたらす太陽からの粒子と地球磁場、ヒマラヤをつくり南米とアフリカを引き裂いたマンツルの流れ、ダイヤモンドをつくり出した高温・高圧の世界、35億年前の原核生物はいかなる変遷を経て現在のように多様化したのか、ほかの惑星に生物は存在したのか(するの)などであり、誰もが抱く身近な疑問だけれど深遠で遙かな事象に関する教育・研究に取り組みます。

化学系

自然界の理解をベースに有用な新物質の創造をめざす

化学は原子・分子のレベルで物質の構造、性質、反応の本質を明らかにし、それに基づいて自然を理解しながら、有用な新物質の創造をめざす学問です。この「化学系」では原子、分子、生命から宇宙まで、自然界に存在するあらゆる物質を研究対象にしています。知的探求の場としては広大なフロンティアがあり、研究方法やスタイルも合成、分析、測定などの実験が主の分野から、理論と計算が主の分野まで、テーマ等によって大きく異なります。このように研究の対象や方法のバラエティが豊かなことも化学の大きな特徴であり、学生は個々の興味・関心や将来の目標にあわせて、自身に最適な研究分野を選べます。

生物科学系

多様なアプローチと方法論を駆使し、生物と環境を統合的に理解する

「生物科学系」の研究対象は、地球の多様な生物の存在様式や生命現象です。マクロ的な視点からは生態学や行動学、系統分類学、人類学、自然史、野外研究などに重点をおいた研究を展開し、生物の進化や多様性の機構を明らかにします。一方、さまざまな生物のゲノムが解読されたいま、ライフサイエンスはポストゲノム時代に入り、新しい研究の方向性が求められています。ミクロ的な視点からは動物や植物の細胞生物学、発生生物学、分子生物学、構造生物学、神経生物学の独創的な研究により、多彩な生命現象を分子レベルで解明します。このようにミクロ・マクロの両視点から多様な方法論を駆使し、生物を環境と合わせて統合的に理解することをめざします。



数理学系の講義風景



3.8メートルせいめい望遠鏡(岡山県に設置)



課題演習(3年次)で訪れた阿蘇山中岳第1火口での湯だまり観測



化学系の実験風景



野外実習(根子岳)

教員
直伝

学問を
楽しむ
ヒント

国境を超えて活躍できる 地震学。世界の仲間と 大きな研究に挑戦しませんか

理学部 / 大学院理学研究科
金子 善宏 准教授



私たち、日本人にとって地震は身近な自然現象であり、恐ろしい災害の一つでもあります。地震のように複雑で分からないことが多い自然現象を、物理や数式を用いて理解を深めていく。その面白さが、地震の研究を始めた私の原点です。地震が一体どのようにして起こるのか、その発生メカニズムを解き明かしたいと思いながら、日々研究に取り組んでいます。時には研究分野を超えてコラボレーションし、様々な観点からのアプローチを繰り返すことで、また新たな研究題材を見出ししていく。20年以上にわたり、地震の原理について世界中の研究者たちとの競争と協力を重ねながら追究していますが、いまだ地震学への興味は深まるばかりです。

地震大国の日本をはじめ、環太平洋一帯は地震の多発地域。以前私が勤めていた研究所のあるニュージーランドも例外ではなく、2016年にはマグニチュード7.8もの地震が起こりました。いつ襲い来るともしれない大地震をまえに、防災や減災にはどの国も余念がない。しかし、震災は起きる。起きてしまった現象のデータから、考える地震のメカニズムのさらなる分析などの研究が行われるわけです。地震の原理を理解するには、世界で起きている地震のデータや国

際的な共同研究が不可欠です。その意味で、地震学は国境を超えて活躍できる学問といえるでしょう。

海外に出ると、自分の意見をはっきりと伝える姿勢、強さが求められます。日本では相手の立場や気持ちを察して発言を控えるなど、なにかと遠慮しがちですが、私が学生時代を過ごしたアメリカでは、違う意見をもつ相手を尊重した上で、考えをぶつけ合う。そして、結果としてより良い方向が生み出されていく場面を数多く経験しました。京大理学部は、自主性と共にそうした積極性を養うのに適した環境であると思います。学生数に対して教員が多いので互いに密に関われやすく、研究の最前線に立つ研究者たちと接する貴重な機会を生かして、どんどん意欲的に質問し、貪欲に学んでほしいと思います。そして、少しでも興味を持った分野には飛び込み、自分の人生をかけて学び続けたいと思えるテーマをとことん探してほしいです。

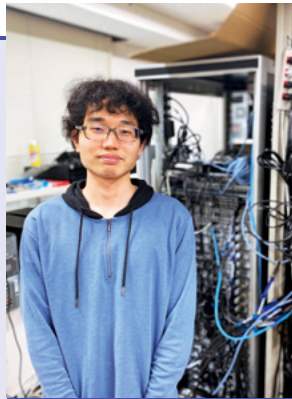
先輩が教える 京都大学の魅力

卒業生

京都大学大学院理学研究科化学専攻
修士課程2回生
2022年3月 理学部化学系 卒業

理学部に集う同志とともに 自然科学の最前線を走る楽しさ

理学部は分野の垣根が低いのが特徴で、幅広い分野の授業を受けたり異なる専攻の友人と勉強会を開くことができます。私はこれらを通じて自然科学を広く学び、興味のある分野を知ることができました。研究室では、豊富な機材や第一線で活躍する先生の指導のもと、研究に打ち込める恵まれた環境に感謝しつつ、興味ある分野を深く学ぶことに充実感を覚えています。皆さんも京都の落ち着いた街中で自然科学を追求してみませんか。



御代川 克輝さん
千葉県
市川高等学校出身

卒業後の進路

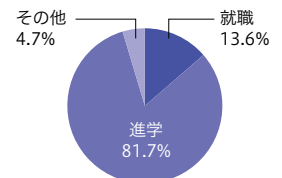
■進学 理学部では例年8割ほどの学生が本学「理学研究科」などの大学院に進学します。あわせて例年100名ほどが博士(理学)の学位を取得します。民間企業に就職するのは例年1割ほどですが、その多くが専門性を活かし、研究開発・技術職に就いています。

■就職先の例 トヨタ自動車(株) / PwCコンサルティング合同会社 / (株)アウトソーシングテクノロジ / (株)ワールドインテック / (株)ソニー・インテラクティブエンタテインメント / (株)SNK / (株)Buysell Technologies / (株)エヌ・ティ・ティ・データ / 京セラ(株) / 東亜合成(株) / シンプレクス・ホールディングス(株) / (株)リソー教育 / 三井住友海上あいおい生命保険(株) / (株)三菱UFJ銀行 / 有限責任監査法人トーマツ / SCSK(株) / 有限責任あずさ監査法人 / 住友商事(株) / GMO ベイメントゲートウェイ(株) / ダイキン工業(株) / (株)日本制御エンジニアリング / (株)オーグス総研 / (株)日本コムダック / (株)ウィルウェイ / 三菱UFJ信託銀行(株) / キリンホールディングス(株) など

■取得可能な資格 理学部は教育職員免許状の高等学校教諭一種免許状(数学・理科)と中学校教諭一種免許状(数学・理科)の課程認定を受けています。また、所定科目の修得により学芸員の資格も取得できます。なお数理学系、物理科学系、地球惑星科学系は測量法施行令第14条第1項が規定する「相当する学科」として認定されており、所定科目の修得により測量士補の資格を取得することが可能です。

■取得可能な教育職員免許の種類と教科
中学校一種……数学 / 理科
高等学校一種……数学 / 理科

2022年度
卒業生の
状況



大学院の紹介

大学院理学研究科 自然現象を支配する 原理・法則を探究する



大学院理学研究科は、数学・数理解析、物理学・宇宙物理学、地球惑星科学、化学、生物科学の5つの専攻があります。

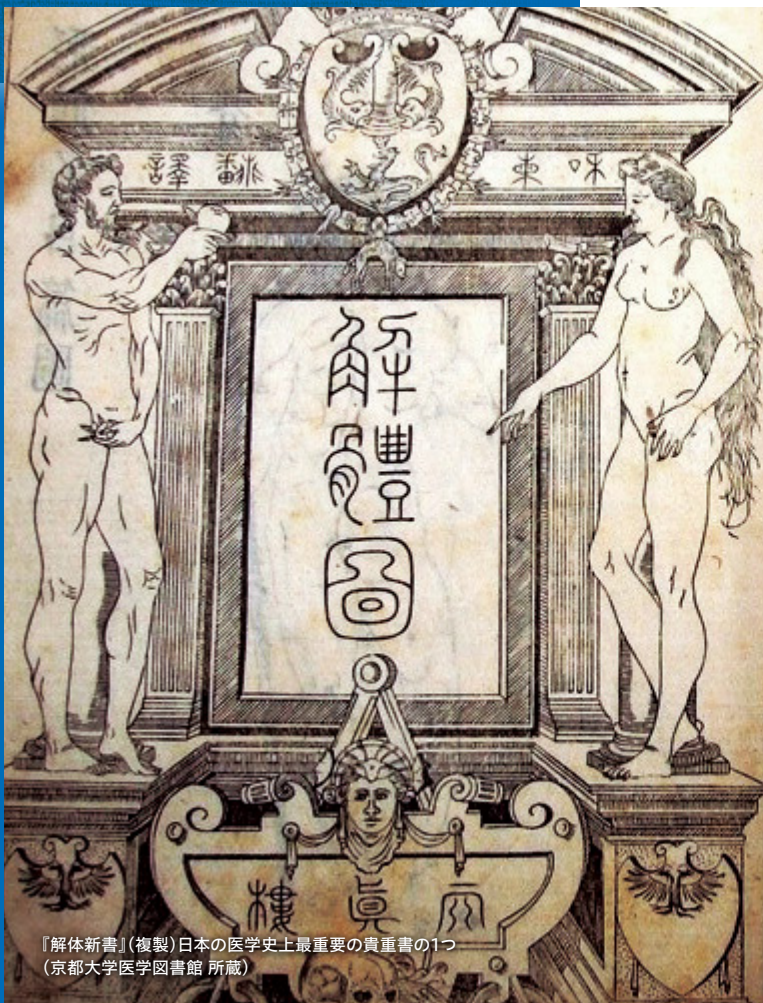
学部レベルでの教育理念の体現を基礎に最前線の研究現場において自然科学の進歩を担うことにより社会に貢献する「研究者の養成」を主な目的とし、講義やゼミナール等の教育とともに個々の研究現場における個別指導を重視します。さらに、広い視野を持つ人材を育てるという観点から、所属する専攻や系分野以外の科目を履修することを奨励しています。

修士課程では理学研究を遂行するのに必要な基礎知識・研究手法・問題解決能力を身につけ、博士後期課程では自ら課題を設定して研究を企画、遂行して博士學位論文としてまとめあげる能力を身につけることを教育目標としています。

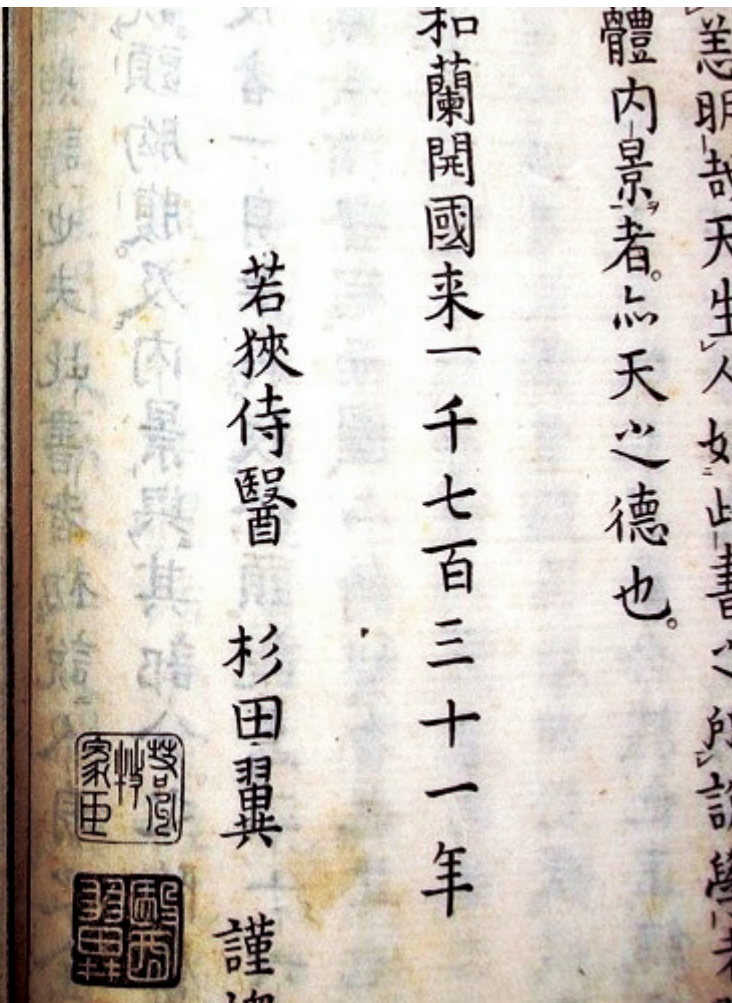
医学部 医学科

Faculty of Medicine

新たな知を創出する視座、
事象の背後に潜む真理を見抜く眼力、
感情を読み取る洞察力。厳しくもあり、
慈愛にも満ちたそのまなざしを育むのは、
自信に裏打ちされた人間力



「解体新書」(複製)日本の医学史上最重要な貴重書の1つ
(京都大学医学図書館 所蔵)



注目

▶ 個性豊かな創造性の涵養をめざして

京都大学医学部は、医療の第一線で活躍する優秀な臨床医、医療専門職とともに、次世代の医学を担う医学研究者、教育者の養成をその責務としています。

京都大学医学部が育てるのは、単に既存の知識を応用して医療にあたるだけでなく、病気など医学事象の背後にあるものを見抜き、自分の頭で考え、新たな知を創出できる人間、また、広く社会と人間行動を理解し病める人の感情を洞察できる人間、社会全体の健康をめざし高い倫理観を持って行動する人間です。

また、これを人類すべてに発信できる国際性豊かな人間を育てることも、我々の使命です。

▶ 日本・世界をリードする医師・医学研究者の養成

京都大学医学部医学科では、日本だけでなく世界をリードする医師や医学研究者を養成すべく、6年間のカリキュラムを通じて基礎から最先端まで医学全般を広範に学びます。

基礎医学では、生命科学ならびに解剖学・生理学・病理学などを学びます。社会医学では、疫学、公衆衛生、環境、医療統計などを学びます。臨床医学では、内科学、外科学をはじめ小児科学、産婦人科学、精神医学、救急医学といったすべての臨床医学の分野について、基礎となる理論(講義)と実際の医療現場での活用(実習)を学びます。

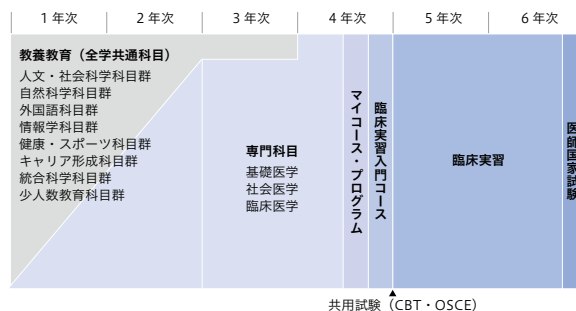
医学部医学科の特徴

1 医師や医学研究者の養成

医学部のカリキュラムは、医師や医学研究者を養成するための講義と実習などを基本とします。すべての授業が必修科目で、6年間の授業で、医学全般を学び、経験します。基礎医学では、生命科学ならびに医師に必要な解剖学・生理学・生化学・病理学・法医学などを学びます。社会健康医学では、個人に対する医療だけではなく、社会全体に対する医学の応用を学びます。臨床医学は、すべての臨床医学の分野について、授業と臨床実習を通じて、基礎となる理論と実際の医療現場での活用を学びます。これらを通じて卒業認定後に、医師国家試験の受験資格が与えられます。また、MD-PhDコースなど、研究に専念することを希望する学生には、研究者になる種々の道が用意されています。

2 学生個々の資質を最大限に伸長

京都大学医学部医学科では、個々の学生の、医師、医学研究者としての資質を最大限に伸ばし、医療や医学研究の分野で活躍できる、すぐれたリーダーを養成することをめざしています。「医師」には専門知識の習得と同時に、その知識を論理的に使う問題解決能力や、病める患者さんと向き合って病気を治療する感性豊かな人間性および人間そのものに対する深い洞察力が必要とされます。また、なによりも、人びとの健康を増進し、病める者を救おうという強い情熱が必要です。一方で、病気の発生機序の解明、新しい診断法や治療法の開発などをめざす医学研究も重要です。また、医療制度が抛って立つ社会への深い理解も重要です。京都大学医学部医学科は、このような分野ですぐれた医療人を育成することをめざしています。「医学研究者」には、新しい知を開拓するための情熱と、卓越した能力が必要です。京都大学には、国際的にも卓抜した研究業績を有する指導者が集まっており、研究開発のできる人材を育成する環境が整えられています。



3 医学研究者を育む「MD-PhDコース」

京都大学医学部医学科には、基礎医学研究者を育成するための道として「MD-PhDコース」が用意されており、早期に研究の機会を得ることができます。本コースには、4年次終了時点で学部を休学して大学院博士課程に進学、医学博士の学位を取得後、学部5年次に復学するコース(学部挿入型)と、学部を卒業後2年以内に大学院博士課程に進学、最短3年で医学博士の学位を取得するコース(卒業進学型)があります。

医学部医学科が望む学生像

京都大学医学部は、1899(明治32)年に京都帝国大学医科大学として創立された百有余年の歴史と伝統をもつ医学部として、世界に誇る指導的な医学者、医学研究者を輩出してきました。医学部医学科は、京都大学が創立以来築いてきた自由の学風を継承し、医療の原点である「人を愛する」精神のもと、学生の自主性、自己啓発を教育の主眼として、個性豊かな創造性の涵養を目指しています。このような方針を踏まえ、世界の医学・医療の発展を担い、人類の健康と福祉に貢献できる人材を育成するために、以下のような学生の入学を期待します。

- 1 自ら課題を発掘する好奇心や探究心、それを解決しようとする主体性を持っている人
- 2 高い倫理性と豊かな人間性を備え、他者との協調性を持っている人
- 3 優れた知的能力とともに、国際的視野を持っている人



基礎医学

医学を多角的に掘り下げる医学者・医療人を育成

入学当初は教養教育を軸とする「全学共通科目」の履修が主体となります。並行して、医療人の素養を育む取組や研究マインドを育成するチャレンジが始まります。国際的に活躍する医学者・医療人を育成するために、外国人教員による英語での生物学授業も用意されています。なお、「全学共通科目」は3年次での履修も可能で、グローバルに活躍する人材を育成するために、医学科所属の外国人教員が担当する医学関連の英語セミナー（ILASセミナー）の履修を推奨しています。

基礎医学の履修は、2年次途中から本格的になり、生命科学の深淵にふれる学習を、さまざまな面から掘り下げて深めていきます。同時に、京都大学では、多くの学生がさまざまな研究室で研究に参加しています。世界的な先進的研究を行っている研究室が多く、身をもって最新の医学研究を体験できる機会となっています。このため、早い時期から海外で研究を行う学生も少なくありません。



臨床医学

的確な判断力と責任感、使命感を宿したリーダーを

臨床医学は主に3年次後半から4年次の授業で学び、5・6年次では病院での実習を行っています。京都大学では、2014年度から新しい実習カリキュラムを導入し、単に医学知識を習得するだけではなく、臨床の現場に適応し、責任をもって診療できるリーダーとしての人材を育成することをめざし、参加型に重点をおいた実習を実施しています。実習は医学部附属病院だけでなく、学外の実習病院でも

行われ、そこでは第一線で医療に携わる経験豊かな医師が臨床教授として学生教育にあたり、豊富な臨床経験に基づいた少人数教育が行われます。このような密度の濃い臨床教育を通じて、最新の医療とその発展に貢献できる人材育成を目指しています。

医学部附属病院

最先端の医療を提供し、良医を育む場を育成

京都大学医学部附属病院（京大病院）には、世界や日本の医学をリードする医師が数多くいます。また、近年は多くの新しい部門・設備も整えられています。例えば基礎医学との橋渡しとしての臨床研究センターが役割を果たし、いち早く患者さんに最先端の医療を届けています。また、地域の医療機関との連携により医療の効率を上げる地域医療ネットワークも機能しています。初期診療・救急医学の部門も整備され、多くの救急患者さんを助けています。京大病院には移植医療や、分子治療、あるいはiPS診療部など最先端の医療があり、世界の最前線を経験できます。がん専門病棟も整備され、診療・治療・教育の場として充実した施設です。



基礎医学研究者の育成

医学のさらなる発展と未来を見つめて

京都大学医学部医学科では、基礎医学研究者を育成するための道が種々用意されています。

●**基礎医学研究者育成プログラム** 東京大学、大阪大学、名古屋大学、京都大学、4大学の合同で、長期的視点に立った基礎医学研究者の育成プログラムを開発すべく、医学分野における教育体制の強化と研究の活性化に取り組んでいます。

1年次全員を対象としたプライマリーコースはカリキュラムに組み込まれており、アドバンスドコースでは選抜された学生20名程度を対象に、論文精読会や基礎医学セミナー、ラボ・ローテーションでの研究成果発表、短期海外留学や学会参加へのサポート、4大学合同リトリート、コンソーシアムを組む連携大学（福井大学・滋賀医科大学・神戸大学・京都大学）間でのリトリート・交流会を行っています。

●**ラボ・ローテーション** 1年次後期から研究室をまわり、研究活動に参加します。ラボ・ローテーションを通じて医学研究のさまざまな分野と手法を広く見聞・体験しながら、研究者としての適性を判断し、性分にあった実験手法と研究分野を見いだすことを目的としています。

●**MD-PhDコース** ラボ・ローテーション、ラボ配属を経て、医学研究者を目標に定めた学生が早期に研究の機会を得ることができるコースです。4年次修了時点で学部を休学して大学院博士課程へ進学、医学博士の学位（MD-PhD）を取得後、学部5年次に復学するコース（学部挿入型）

と、学部を卒業後2年以内に大学院博士課程へ進学、最短3年で医学博士の学位（MD-PhD）を取得するコース（卒後進学型）があります。



教員
直伝

学問を
楽しむ
ヒント

医学とは、螺旋を描くように 身につけるもの。原動力は 「おもしろい!」という直感

医学部 / 大学院医学研究科
柳田 素子 教授

医学の発展とともに、医師が身につけるべき知識は増えています。必要な知識を教えるだけで多くの時間がかかりますが、ただ知識を与えるだけでは学びが義務になってしまいます。医学は解剖、組織、病理、生理、薬理と螺旋を描くように知識を深めていきますが、基礎を学んだあと、さらに奥深い医学の世界に導いてくれるのは、みずからの興味・関心にほかなりません。授業で心がけているのは、学生それぞれの「好き・おもしろい」をくすぐること。たとえば昔の発見を知ってもらう授業では、医学史のなかでの位置づけ、創薬までの道のり、実験過程など、多様な切り口で、先人たちの足跡を追体験できるよう工夫します。

私が医学の深基さにふれたのも学生時代の授業をとおしてのこと。教科書をなぞるのではなく、先生が自身の研究について熱く語る授業は、まるで未知の世界への旅に連れだしてもらった感覚でした。講義や研究室以外の場でも、先生がたはことあるごとに医学への熱意を伝えてくださいました。研究について考えこみながらキャンパスを歩いていたとき、のちにノーベル賞を受賞される本庶佑先生から「君はなにを研究しとるんや」と声をかけられました。勢いにまかせて、数分かけて説明したところ、返ってきたのは、「一般の人に1分で話して、おもしろいと思ってもらえることを研究せなあかん」。感じたのは、誰にでも理解できる本質的なテーマにこそ立ち向かうべきだという熱意。こうした気風は、いまま京大医学部に色濃く流れています。



医学を志す学生たちにも一つ、知ってほしいことがあります。社会を構成する「人」は一様ではなく、みなさんが想像もしなかった環境やシステムのなかで生きる人がいます。ましてや患者さんたちは、さまざまな社会的・経済的境遇のなかで、健康に対する大きな不安を抱えておられます。そうした方がたに寄り添うには、まずは自分の世界を広げること。私にとってその扉は「読書」。とりわけ小説は、社会における様々な立場の人が、どのように世の中を見ているのかを追体験するにはうってつけの方法です。もちろん、多様な人たちとの交流や留学もいいでしょう。殻にとどまっていたはなにも始まりません。あな

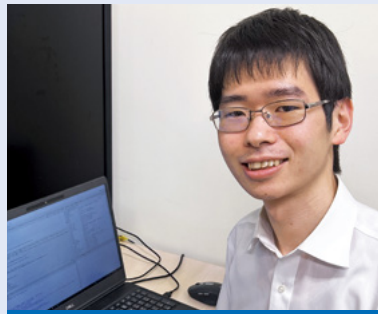
たの琴線にふれるものを探す旅を始めてください。

先輩が教える 京都大学の魅力

在校生 医学部 医学科
6年生

学問の面白さに触れ、 好奇心を刺激される日々

最先端の研究に触れたいと思い、京都大学を志望しました。1年次より研究室に通い始め、先生方の研究紹介や同志の友人との勉強会を通して、基礎医学に強い関心を持ちました。現在は霊長類における生殖細胞の発生機構解明を目標に、カニクイザル生殖細胞の遺伝子発現解析を行っています。幅広い分野の専門家に出会い、優秀な同級生と切磋琢磨しながら、面白く感じることを追求できる学びの環境が京都大学の魅力だと思います。

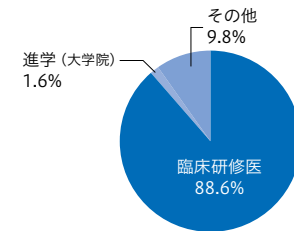


加藤 嘉崇さん
京都府
洛南高等学校 出身

卒業後の進路

■概要 研究分野によっては大学院に進学する者もありますが、一般的には医師免許取得後、医学部附属病院あるいは研修病院において2年間の卒業臨床研修を行います。

2022年度 卒業生の状況



■取得可能な資格 医学部の所定課程を修了し、卒業した者および卒業見込み者には、厚生労働省が実施する医師国家試験の受験資格が与えられます。

*医師国家試験合格者
116名 94.3%

大学院の紹介

大学院医学研究科 医学・医療のすべてがここに。 人類の未来を育む



大学院医学研究科は、医学専攻、医科学専攻、社会健康医学系専攻、人間健康科学系専攻、京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻の5専攻からなる、全国でも屈指の規模を誇る研究科です。中でも、医学科卒業生以外が医学を研究する医科学専攻は修業年限3年の博士後期課程を有する我が国で唯一の専攻です。医学研究科の研究領域は、基礎医学、臨床医学、社会医学、医療技術学、その他、医学・医療と人の健康と福祉にかかわるすべての領域を包含しています。本医学研究科の使命は、医学・医療にかかわる領域における「知の創造」とそのたえまない「実社会への還元」によって人類の健康と福祉の向上に貢献すること、および、その牽引力となる国際的なリーダーとなるべき人材の育成です。



医学部

人間健康科学科

Faculty of Medicine /
School of Human Health Sciences

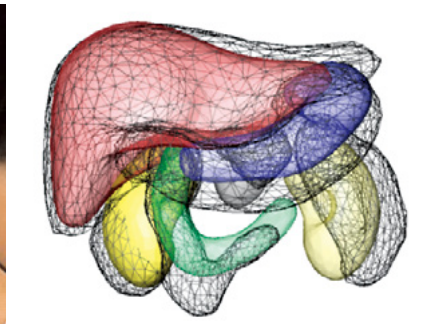
「人の心と身体を健康を科学する」

探求心を原動力に

医療専門職にふさわしいバランス感覚、

臨機応変に問題を解決する

判断力と行動力を磨く



左／臨床検査実習風景、中央上／3次元CT画像群から作成された腹部臓器の形状アトラス(半透明:平均形状、メッシュ:個人の形状)、右上／家族・発達支援研究室(発達障害領域の作業療法室)、右下／MR機器を用いたリハビリテーション評価・治療

人間
注目

人間の健康を科学し実践する人を育む

人間健康科学科は「健康について科学する」を教育の中心に定め、健康科学に関する幅広い知識をベースに、世界トップレベルの先端医療技術の研究・開発と、臨床フィールドでの実践において、世界を牽引しグローバルに活躍できる人を育成します。

高度医療専門職リーダーの育成

先端看護科学コース、先端リハビリテーション科学コース、総合医療科学コース内の臨床検査プログラムでは、学部・大学院の接続を強化した教育により、高い研究能力と専門性を有した将来リーダーとなりうる高度医療専門職(看護師、助産師、保健師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師)を育成します。それぞれの専門職養成プログラムには定員があり、選抜が行われることがあります。

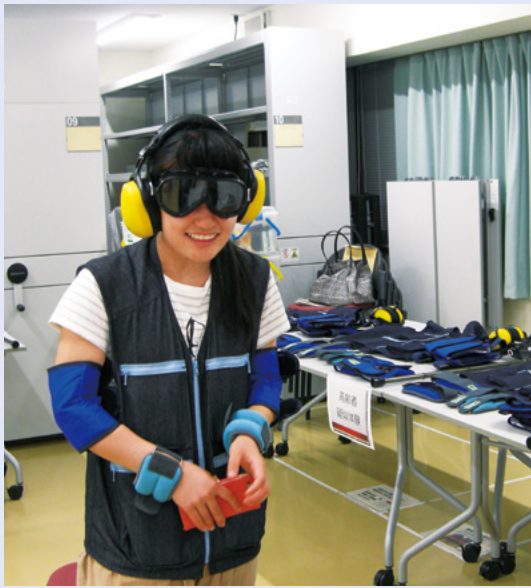
新たな医療ニーズに応えられる研究者の育成

医学・医療に関わる基礎から先進的な医療技術を理解すると同時に、薬学、医工学、情報学など、周辺科学領域に係る高い専門性を身につけることで、先端医療技術の開発や近未来社会の医療ニーズに応えられる世界レベルの研究を牽引する研究者の育成を目指します。

実力を高める科目構成と自由なコース選択

一般入試で入学した学生は、入学後1年半は、「全学共通科目」で教養を育み、「専門基礎科目」で、医学・医療に関する共通の基礎教育を受けます。そして2年次後期から、各自の希望や適性に基づいて3つのコース(先端看護科学コース、先端リハビリテーション科学コース、総合医療科学コース)のいずれかに進み、各コースの「専門科目」で専門知識を学びます。これにより、ベースとなる医学・医療教育の拡充と、各専門性を見極めた選択が可能になります。

*特色入試で入学した学生は、入学時に希望したコースに進みます。



1 大学院への接続を強化した学部教育

世界レベルの研究を牽引する研究者・教育者を養成するには、大学院の充実が不可欠です。各コースの専門性を重視した大学院教育の一層の充実とともに、各コースとも大学院への接続を意識した学部での講義や、卒業研究指導を行っています。さらに京都大学医学部附属病院、iPS細胞研究所などの横断的な連携により、医療データサイエンス、iPS細胞再生医学などの新分野での研究教育を推進します。

2 最先端の看護科学を修めた看護師・保健師の養成

「先端看護科学コース」では2年次後期から基礎看護学や地域看護学などにより、健康観や看護観を形成するための基礎的な考え方や理論を学びます。あわせて基礎看護学技術演習や基礎看護学実習で看護援助の知識や方法論を習得すると同時に、看護の臨床を経験します。3年次では発達段階や予定期からエンド・オブ・ライフ期まで幅広い健康の段階、さらに多様な療養の場に応じたアセスメント等の専門知識、援助の方法論などを専門領域に分かれて学修します。4年次では在宅と地域を対象とする実習に取り組みます。あわせて志望する研究室に所属し、教員による個別指導を受けつつ卒業研究(統合看護)を進めます。

3 先端科学の知見をもつ理学療法士・作業療法士の養成

「先端リハビリテーション科学コース」理学療法学講座では2年次後期に入門理学療法・作業療法などを学び、3年次前期から学ぶ専門科目の土台となる理学療法の基礎的な考え方や理論を養います。3年次後期からは臨床評価実習や臨床実習を行い、理学療法の現場を経験します。臨床実習終了後は発展臨床実習や卒業研究に取り組み、理学療法を先端科学の観点から捉え、臨床あるいは研究の場でリーダーシップを発揮できる理学療法士をめざします。

作業療法学講座では2年次後期に入門理学療法・作業療法などを学び、3年次前期から学ぶ専門科目の土台となる健康観や作業療法学の基礎的な考え方や理論を養います。あわせて臨床評価実習と総合臨床実習を3年次後期から4年次前期の間に行い、作業療法の現場を経験します。総合臨床実習の終了後は先端作業療法学と卒業研究に取り組み、リハビリテーションを先端科学の観点から捉え、臨床あるいは研究の場でリーダーシップを発揮できる作業療法士をめざします。

4 総合医療科学のリーダーとなる研究者・医療者の育成

「総合医療科学コース」では、2年次後期からの総合基礎科目と総合専門科目の履修により、医学・医療の基礎知識に高度な専門知識を重ね、先端医療技術の開発や近未来の医療ニーズに対応できる能力を身につけます。4年次からは総合医療科学の各専門性に応じた基礎系医療科学、臨床系医療科学、理工系医療科学の各講座を構成する研究室に所属して、教員による個別指導を受けつつ卒業研究を進め、自ら見つけた課題を自ら解決する能力を養います。また、医学・医科学専攻、京都大学医学部附属病院、iPS細胞研究所、医生物学研究所などに所属する協力講座を選択することも可能です。なお「総合医療科学コース」では所定の科目を選択して単位を修得することにより、臨床検査技師の国家試験受験資格が与えられます。

医学部人間健康科学科が望む学生像

- 未知へと挑戦する進取の気性に富む人
- 真理を追究する情熱を持ち、豊かな人間性と高い倫理観を備えている人
- 優れた知識と技能及び思考力・判断力・表現力を持ち、自学自習のマインドをもつ人
- 協調性に優れ、周囲の人間と良好なコミュニケーションをとることができる人
- 将来、高度医療専門職、総合医療科学領域において、国内外の独創的な学術研究をリードする意欲のある人

3コースの紹介

先端看護科学コース

看護学の対象は、あらゆるライフサイクルの個人や家族はもとより、地域や国際社会に広がっています。また、病いと共に生きる人々だけでなく、疾病の予防や健康増進をふくめ、あらゆる健康レベルの人々に関わります。そのため先端看護科学コースでは、既成の枠にとらわれない新しい発想の教育・研究を通じて、新たな領域を開拓していくことをめざします。次の3講座があり、国際的に活躍するリーダー育成を念頭に、大学院進学を推奨しています。

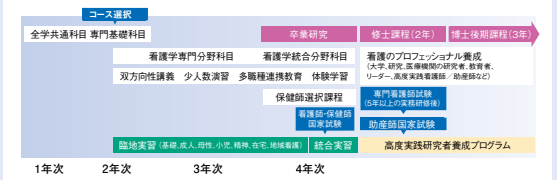
●**先端基盤看護科学講座** 質の高い看護実践の基盤となる領域を取り扱う講座です。生体リズムに基づき人々の健康を支える生活環境の調整方法、在宅医療の諸問題及び認知症の病態解明や生活習慣や生活環境への介入法、また、データ主導型個別化医療と予測医療を実現するためのシミュレーション科学とデータ科学の開拓、併せて、より良い患者-医療者関係に基づく倫理的看護実践の方策等について考察し、Evidence

Based Nursing : EBNIに資する能力を身につけた看護師/研究者の養成を目指します。

●**先端中核看護科学講座** 人の健康は身体的・精神的・社会的・スピリチュアルなどの要因によって形成されているとの視座に立ち、成人・高齢者の心身の健康問題を扱い、専門的な視点からアセスメントする方法や援助技術の開発・教育・研究を行う講座です。慢性疾患を持つ人々や、生命の危機的状態にある患者、精神障がい者、緩和ケアを必要とする人々とその家族が、病と共に自分らしく生きるための苦痛緩和へのアプローチと、QOLの維持向上を中心に据え、人の根源的な苦悩に目を向けて支援システムの開発・教育・研究に取り組んでいます。大学院では高度実践研究者養成プログラム専門看護師課程にて、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、精神看護、がん看護の専門看護師を養成しています。

●**先端広域看護科学講座** 本講座は、小児看護学、周産期疫学、地域健康創造看護学の3分野で構成されます。対象・時間・エリアの広域性をもって、子ども・妊産婦とその家族や地域に暮らすすべての人々があらゆる成長・発達段階において健康でwell-beingに生きるための看護を教育・研

究しています。また、ケアの有効性と安全性に関するエビデンスを構築し、多様な場においてニーズにあったケアを創造できる人材の育成を目指しています。周産期疫学分野では助産師課程(修士)を、地域看護学分野では保健師課程を担当し、学生が多様な未来を実現するサポートをしています。



先端リハビリテーション科学コース

先端理学療法学講座

理学療法学は日常生活に必要な基本動作能力に障がいがある人々、または障がいを引き起こす可能性のある人々が社会生活に適応するために必要な援助・治療技術を提供する実践科学であり、それらの技術を提供する医療専門職が理学療法士です。少子高齢化が進む今日、理学療法士の職域は医療機関だけでなく、地域における保健・福祉の分野にも広がっています。そのため理学療法士には、医



療・保健・福祉を横断する専門職にふさわしいバランス感覚が求められています。また、自由裁量に基づく判断と行動が必要とされる理学療法士には、専門的な知識や技術を習得するだけでなく、科学的根拠に基づいて行動し、問題を解決する能力と豊かな人間性が不可欠です。先端リハビリテーション科学コースでは、こうした社会的ニーズに応えられる高度医療専門職としての理学療法士の育成に向けた教育を行うと共に、日本と世界の理学療法を牽引できるリーダーおよび研究者の養成をめざし、理学療法学講

座を設置しています。

●**先端理学療法学講座** 京都大学医学部附属病院で最先端医療にふれながら行う臨床教育を通じ、科学的な根拠のある医療 (Evidence Based Medicine : EBM) に基づく判断力と柔軟な対応能力を養います。また、基礎教育科目や卒業研究などを通じ、科学的な思考力と実践的な問題解決能力を養います。これらのカリキュラム設定は大学院への接続を意識しており、大学院に進学することで、さらに理学療法領域のリーダーをめざした研究に取り組むことができます。そうした道を歩んだ卒業生も数多く、大学院や臨床中核病院などの理学療法士としてはもちろん、大学の教員・研究員として活躍し、世界的に注目されている人材も少なくありません。

先端作業療法学講座

日々の暮らしは、着替えや食事などの日常生活を維持する活動、職業や家事・育児・学業などの仕事に関する活動、遊びや余暇活動、これらによって営まれています。疾病や障がいは生活に支障をもたらすことがありますが、これらの活動のありようによって個人の生活の質、健康な生活、社会参加の内容が大きく変わります。作業療法学講座では、障がいの予防・改善を先端リハビリテーション科学によって担う高度医療専門職としての作業療法士の育成に向けた臨床教育を行うと共に、日本と世界の作業療法を牽引でき



るリーダーおよび研究者の養成をめざしています。

●**先端作業療法学講座** 生活を科学する作業療法は「適応の科学」と言われ、病や障がいにより日々の暮らしに支障を来している人々へ、自律した生活に適応できる能力の発達・回復・開発・維持を援助します。生活への適応困難は、生理機能、運動機能、認知機能、社会的機能などの要因のいずれか、もしくは複数の要因が重なって生じます。そうした問題を分析でき、対策を立案できる作業療法士の育成のため、作業療法学講座では、適応機能の改善・回復を効果的に

実践するための作業活動の特性を学び、対象者個々のニーズにあわせた作業を段階づける知識・技術を獲得すると共に、作業分析法、評価法、援助法などを身につけていきます。また、作業療法は高度先進医療を補完する治療・援助技法としても注目されており、先端作業療法学講座が進める研究成果を臨床で実践する人材の育成もめざしています。さらに大学院(医学研究科人間健康科学系専攻)では脳波、経頭蓋磁気刺激法、近赤外線分光法、自律神経機能測定、神経心理学的検査などの手法で得られる客観的指標の研究に取り組み、京都大学医学部附属病院と連携しながら、高度な臨床専門職と教育・研究職を養成しています。

総合医療科学コース

総合医療科学コースは、専門性に於いて以下の3つの講座と11の分野からなり、4年次では各研究室に所属し、卒業研究に取り組みます。

●**基礎系医療科学講座** 病気を理解するためには生命の基本原則を知り、生命を統合的に把握する力が重要です。これを念頭に基礎系医療科学講座ではヒト疾患の原因や病態を学び、治療の予後予測に必要な不可欠な生体情報を多角的に解析しつつ全体を俯瞰できる総合的医療研究者の育成をめざします。あわせてヒトをふくむ生命と生物原理を理解し、現代医療の多様な問題を解決できる研究者・教育者の育成もめざします。

●**臨床系医療科学講座** 生体から得た情報を臨床の

診断や治療に応用すること、移植医療・再生医療・遺伝子治療などの先進医療技術の展開に寄与すること、これらを目的に、その基礎となる理論や技術に関する教育・研究を行います。あわせて臨床の多様な問題の解決に向けて、積極的・機動的に対応できる能力を備えた人材の育成をめざします。

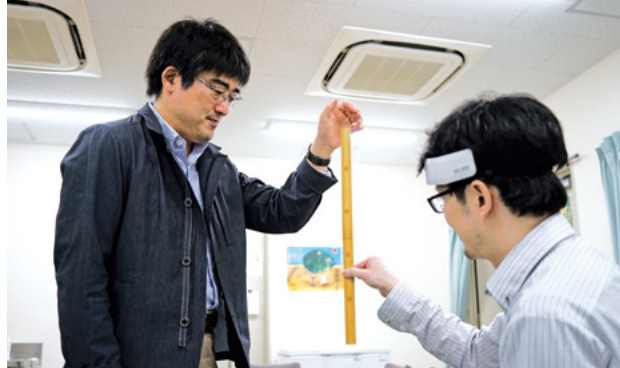
●**理工系医療科学講座** 先進医療を支える生体医療情報解析や医療画像診断の技術を進化させるには、医学・理学・工学の融合分野の研究を牽引する人材が必要です。そのため理工系医療科学講座では医療系の大学では他に先駆けて推進してきた本格的な情報理工学の研究・教育をベースに、先端医療機器システムや医療・介護支援技術の開発など、近未来の社会が医学・医療に求める多様な分野において、グローバルに活躍できる人材の育成をめざします。

また、総合医療科学コースでは、医学・医科学専攻、京都大学医学部附属病院、iPS細胞研究所、医生物学研究所などとの横断的な連携を積極的に、データサイエンス、iPS細胞再生医学、医療デジタルトランスフォーメーションなど、医学領域における新分野での研究教育を推進しています。



だれもが自分らしく生きる 手助けを。科学と実践の 両輪で作業療法は花開く

医学部 / 大学院医学研究科
稲富 宏之 教授



精神科の病気に統合失調症やうつ病があります。こうした病気を抱えると、普通にできていた日常生活や学業、仕事があまくできなくなり、社会への参加が難しくなる「生活のしづらさ」が窺えるようになります。作業療法士は、こうした方がたが家事や仕事、趣味もふくめた「自分らしい」生活に復帰できるよう、治療や支援をする医療専門職です。日常生活に必要な身体動作の訓練はもちろん、対人交流の不安を解消する練習など、心理的な面から社会への適応を支援することも重要な役割です。

精神疾患の治療と支援では、対象となるその人自身が大切にする価値観や興味を重んじることが不可欠です。生き方や趣向は十人十色。対象者の言葉に耳を傾けるだけでなく、言外からも望みを推し量る柔軟さがが必要です。AIや機械に代替しえない、人間だけが得意な仕事だと自負しています。授業ではセルフチェックを取り入れ、画一的な考えと対応に凝り固まっていないか、意識してもらいます。さらに、精神疾患を抱える方は孤独になりがちな側面があります。適切な支援には、人とつながる力の重要性を作業療法士自身が理解することも必須。こうした意識は、授業でくりかえし伝えていきます。

専門性のない、常識的なふるまいばかりだと思うかもしれませんが、どれも「自己の治療的使用」という専門技術にもとづいています。作業療法は、いかにこの技術を駆動させるかが肝心です。合理的に技術を実践できるよう、サイエンスの知見を積み重ねています。たとえば、脳機能の研究室とともにモノづくりをするときの脳と手の関係を研究したり、睡眠研究の研究室と日中のパフォーマンスと眠りとの関係に着目した研究課題を進めています。

臨床現場には、解決すべき課題はまだ横たわっています。サイエンスの進歩は、解決の鍵となります。京都大学で作業療法学を学ぶ学生には、最先端の知見を駆使し、その鍵を発見する力も期待されています。作業療法学と関連科学の知のネットワークのもとで、ともに学びませんか。

卒業後の進路

※人間健康科学科は、2017年度入学生から新カリキュラムとなりました。2022年度の卒業生には一部旧カリキュラムの学生も含まれます。

■概要

先端看護科学コース 医療機関(病院・保健所・市町村・企業内健康管理部門など)や官公庁、医療関連企業、教育研究機関への就職が多く、大学院進学者は例年15%前後です。

総合医療科学コース 例年60~70%が大学院に進学し、就職先としては医療機関(病院・診療所・保健所など)や教育研究機関の他、製薬等企業・研究所、医療機器メーカー、臨床検査センター、高度先進医療関連施設、科学捜査研究所、医療・保健行政など、多岐にわたります。

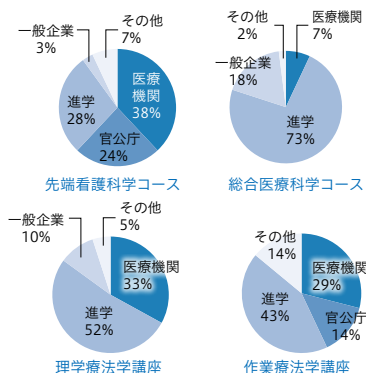
理学療法学講座 例年50%近くが大学院に進学し、他は医療機関(大学病院・リハビリテーション専門病院・一般病院)や行政機関、教育機関、医療関連企業などに就職します。

作業療法学講座 リハビリテーションセンター、国公立病院、私立病院、老人保健施設、児童福祉施設、医療関連企業、行政機関などへの就職が多く、大学院進学者は例年40%前後です。

■取得可能な資格 人間健康科学科の所定の課程を修了し、卒業した者および卒業見込み者は、厚生労働省が実施する次の国家試験の受験資格が与えられます。

先端看護科学コース…………… 看護師/保健師(選択制)
先端リハビリテーション科学コース(理学療法学講座) …… 理学療法士
先端リハビリテーション科学コース(作業療法学講座) …… 作業療法士
総合医療科学コース…………… 臨床検査技師(選択制)

2022年度 卒業生の状況



先輩が教える 京都大学の魅力

在校生 医学部 人間健康科学科
先端看護科学コース 4年生

京都大学でしかできない体験が たくさんあります

本学科では、1年生から他コースの学生とともに医療を学び、2年生では解剖実習という貴重な体験をすることができました。

看護コースでは、専門分野の先生から生活する人々へのケアを学び、最先端の研究に触れ、日々楽しく学生生活を過ごしています。それぞれの目標に向かって努力している友達との関わりの中で、多様な将来を思い描いていける環境にあると思います。また、京都という自然豊かな環境で学ぶことができてよかったと思います。



高峰 詩由さん
福岡県
明治学園高等学校 出身

大学院の紹介

大学院医学研究科 世界をリードする医療人・ 医学研究者を育成する



人間健康科学系専攻は、①高度先進医療の発展に不可欠な高度医療専門職としての看護師・保健師・助産師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、医学物理士の養成、②高度先進医療を受けた本人とその家族、また高齢者に対して、効果的かつ質の高い生活支援を提供できる人材の輩出、③新しい保健医療福祉システムの構築に寄与する高度でかつ学際的、革新的な教育者・研究者の育成を目指しています。

大学院入学者は、学部からの進学が多数を占めていますが、保健医療福祉の分野で一定の実務経験を有する者も含まれます。

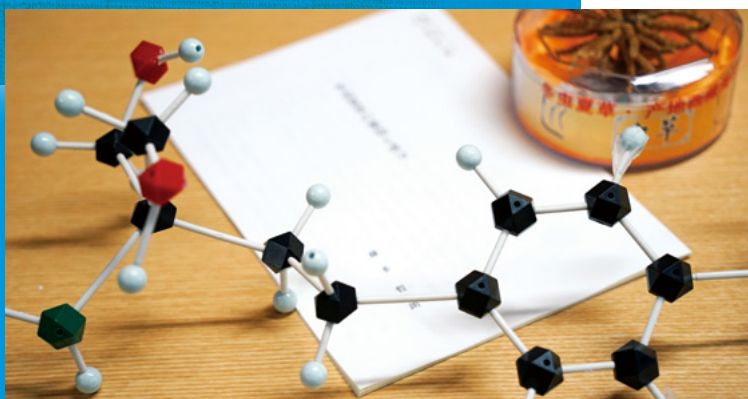
大学院修了後は、保健、医療、福祉の現場に再び就職し、高度医療専門職として活躍するだけでなく、在学中に培った健康科学に関わる専門的な知識、技能を活かして多様で幅広い分野に進出し、社会貢献に寄与することが期待されています。

薬学部

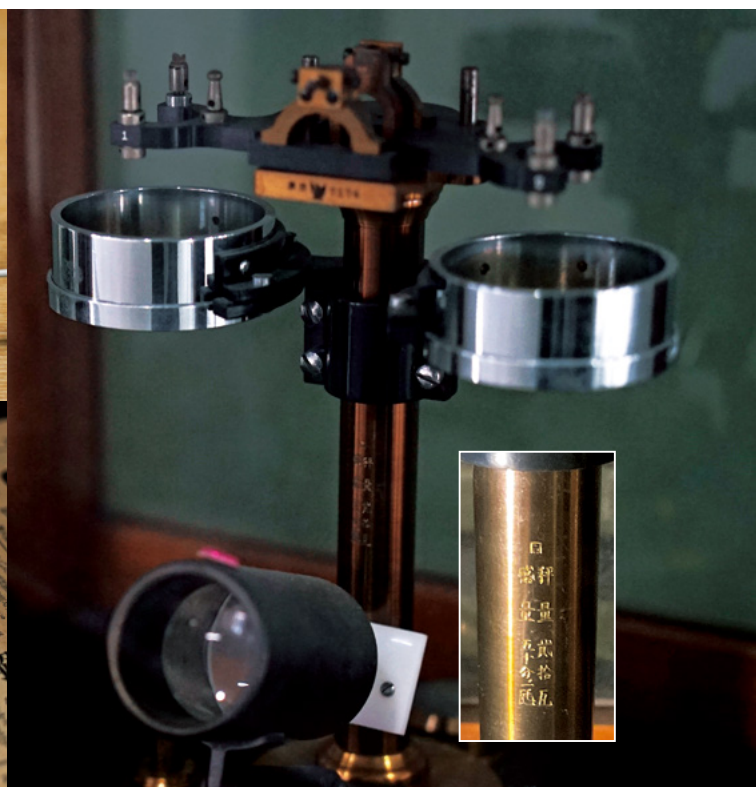
Faculty of Pharmaceutical Sciences

- 薬科学科[4年制]
- 薬学科[6年制]

独創的・先導的な創薬研究と
高度医療を支える臨床薬学。
それぞれの道のプロフェッショナルを
めざして人の命とむきあい、
生体の謎に迫り、自然の理に目を凝らす



左上下/多発性硬化症治療薬開発に功績のあった藤多哲郎名誉教授の展示(藤多記念ホール)
右/薬学部所蔵の天秤。感量50分の1ミリグラム
秤量20グラムの刻字あり



注目

薬の創造と適正使用のための学びの場

人類の健康に大きく貢献する薬は、現代社会に不可欠です。京都大学の薬学部は、そうした薬を創造・創製し、適正に使用するための学問を行う場です。また、薬の開発は先端的な科学と技術の融合によって成り立っており、京都大学の薬学部では化学系、物理系、生物系、医療系などの幅広い専門知識と医療人としての心を学び、社会に貢献することをめざします。

目的別に4年制と6年制の2学科を設置 (4年次に学科振分け)

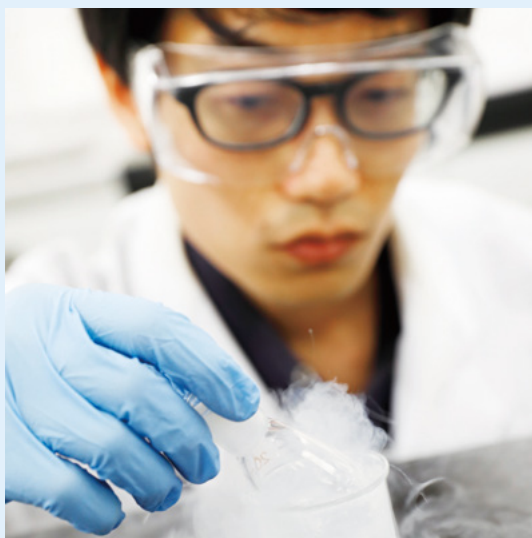
薬学領域は近年の生命科学の進歩と医療の高度化にあわせ、新しい概念に基づく医薬品の創製・発展と医療への貢献に対応できる教育が求められています。世界中の多くの人を救うために医薬品の創製や生産を担う創薬科学研究者・技術者を養成する4年制の「薬科学科」、先端医療や高度医療を支える臨床薬剤師や臨床薬学の研究者・技術者を養成する6年制の「薬学科」、2学科それぞれの目的に則した人材育成を進めています。*学科振分けは4年次進級時に行われます。

約80年の歴史をもつ薬学の教育・研究

京都大学における薬学教育・研究は1939年、医学部薬学科の設置とともに始まりました。さらに、発足時の薬品製造学と薬品分析化学に加え生命科学系の講座等も設置され、総合科学としての薬学の教育・研究体制を整えて、1960年に薬学部として独立しました。その後も、医薬品への社会的な期待を背に、次世代の創薬・医療の羅針盤となる薬学の教育・研究体系を追い求めながら常に発展を続けています。

創薬・臨床薬学研究のトップリーダー

多くの学生は学部卒業後、大学院薬学研究科に進学します。薬科学科卒業生に向けた薬科学専攻(修士2年制、博士後期3年制)と創発医薬科学専攻(一貫制博士5年制)、薬学科卒業生に向けた薬学専攻(博士4年制課程)を設置し、研究能力を高める体制を整えています。薬学領域では、グローバルに活躍できる多くの博士人材の育成が社会から求められており、先端科学研究と社会貢献というトップリーダーに課せられた使命の遂行に努めています。



京都大学薬学部を
もっと知りたい方に……

■京都大学薬学部・薬学研究科
入学ガイドブック

→<https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/wp-content/uploads/2022/10/guidebook-2022.pdf>

薬学部の特徴

1 高度な基礎科学力と薬学的応用力の養成

医薬品は、人体に働きその機能を調節することによって疾病の予防・治癒、健康の増進をもたらす物質です。薬学は、この医薬品を創製、生産し、適正に使用することを目指す総合科学であり、物理学、化学、生物学の多岐にわたる基礎科学に立脚しています。京都大学薬学部では、薬学の基礎体系となる学問を徹底的に学び、知識や技能を統合して薬学的に応用する能力を身につけます。

2 主体的な学びと高いコミュニケーション能力の養成

創薬、医療のいずれにおいても、現場での潜在的な問題を発見し、課題を設定して解決に導くプロセスが必要です。これを実践するためには、主体的かつ論理的に考えて行動する能力が求められます。さらに、チームの能力を高めるためのリーダーシップやコミュニケーション能力を身につけることも重要です。薬学部では、初年次から能動学習や少人数学習を積極的に授業の中に取り入れて、これらの能力を養う教育を行っています。

3 ミスマッチの少ない柔軟なキャリアパスの選択

京都大学薬学部は、レイト・スペシャリゼーション(専門の晩成化)に基づき、一般選抜入学者は4年次に学科の振り分けを行います。すなわち、3年次までに一般教養教育や薬学専門教育を受け、さまざまな角度から薬学についての理解を深め、少しずつ将来のイメージを固めていきます。創薬あるいは臨床薬学のプロフェッショナルになるかを考えて、4年進級時に希望と成績により学科振り分けを実施します。

薬学部が望む学生像

京都大学・薬学部は総合科学としての薬学の基礎体系を習得し、創薬と臨床薬学に関わる研究者、教育者、技術者、薬剤師を育成することを目標とし、次のような学生を求めています。

- 1 薬科学科[4年制]の使命は医薬品の創製です。自ら考え、主体的に知識を広げて探求するなど、医薬品を創造するための素質と豊かな心をもつ人を求めています。
- 2 薬学科[6年制]の使命は最適な薬物治療の実現です。医療の進歩と発展を担うための向上心、探求心、そして行動力をもち続けられる人を求めています。

両学科とも卒業後は大学院博士(後期)課程に進学して、トップレベルの薬学領域でグローバルに活躍したいと考えている人を特に求めています。



薬科学科[4年制]

独創的・先導的な創薬研究のプロフェッショナルを養成する

医薬品の設計・合成や生体分子との相互作用に関わる諸問題に対峙し、構造・機能や作用・動態などの側面から研究する総合科学としての薬科学について、その基礎と応用に関する知識と技術を学びます。あわせて4年次には希望する研究室に所属し、最先端研究にふれる特別実習に取り組みます。養成をめざすのは創薬科学の研究者や技術者です。また、さらに広い視野に立脚し、専門知識を深めながら研究能力を養うことを目的に、大学院(修士課程・博士後期課程/計5年間)に進学する卒業生が多いのも薬科学科[4年制]の特徴のひとつです。



薬学科[6年制]

高度医療を支える臨床薬学のプロフェッショナルを養成する

医薬品の適正使用を目的とした総合科学としての薬学にアプローチ、その基礎と応用に関する知識と技術を臨床に則して学びます。4・5・6年次には特別実習、病院実習、調剤薬局実習に取り組みます。養成をめざすのは臨床薬学の研究者・技術者や高度医療を支える薬剤師です(卒業時に薬剤師国家試験受験資格を取得)。また、さらに広い視野に立脚し、専門知識を深めながら研究能力を養うことを目的に、大学院(博士課程/4年間)に進学することも可能です。



薬学部の教育課程

■ 薬科学科[4年制] 主目的

創薬のプロフェッショナル養成

※薬科学科卒業生には薬剤師国家試験受験資格は与えられません。

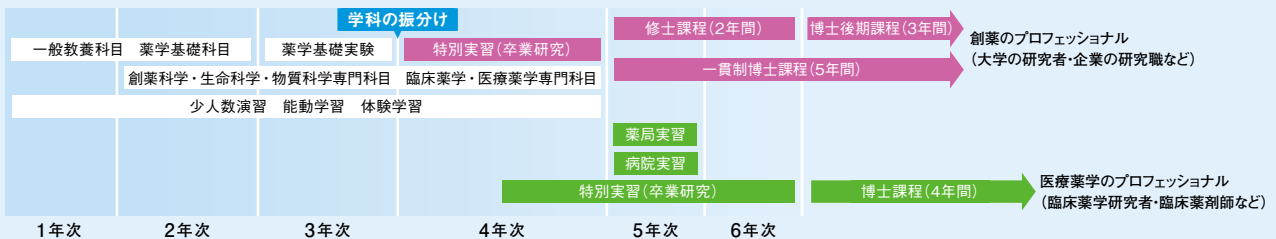
■ 薬学科[6年制] 主目的

臨床薬学のプロフェッショナル養成

※薬学科を卒業すれば、薬剤師国家試験受験資格が与えられます。

カリキュラム

■ 薬科学科[4年制] 主目的 / 創薬のプロフェッショナル養成(H30年度入学者からは、薬科学科卒業生に対しては、薬剤師国家試験受験資格は与えられません。)
 ■ 薬学科[6年制] 主目的 / 臨床薬学のプロフェッショナル養成(薬学科を卒業すれば、薬剤師国家試験受験資格が与えられます。)



1・2年次

入学当初1年間は外国語をふくむ教養教育を軸とする全学共通科目を主に履修します。その目的は幅広い分野の学問にふれながら豊かな教養を身につけると共に、高度な専門科目を学ぶための基礎学力と思考力を養うことです。あわせて「薬の世界」入門、基礎物理化学、基礎有機化学などの専門基礎教育、薬学研究SGD演習などの能動型演習科目、基礎科学実験などの基礎実験科目も履修します。2年次では全学共通科目と専門基礎教育科目の科学コミュニケーションの基礎と実践を履修する他、専門教育の科目も履修し、各自の興味、適性、将来展望に応じて、ゆるやかな専門化を目指します。

3年次

薬学の専門知識・実験技術を学ぶための専門教育科目を主に履修します。大学院に連結する高度な専門知識を学ぶ研究基盤教育科目の一部も学びます。また、専門実習はすべて必修科目になっており、薬学のあらゆる専門分野に関する実験技術を習得します。3年次までの学修を通じて、学科および配属研究室を選択し、各自の希望と成績によってそれらが決定されます。

4年次〈薬科学科〉

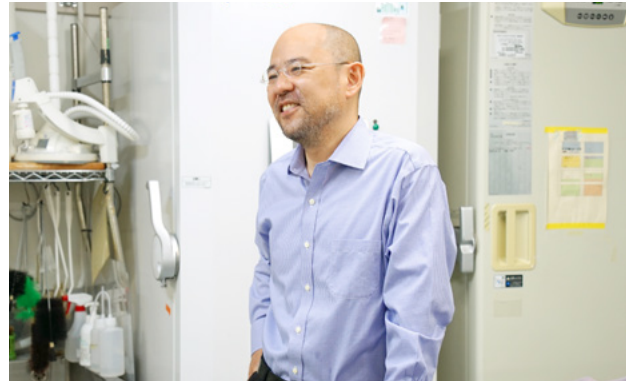
ほぼ1年間、特別実習を行います。この特別実習では研究室に所属し、教員の指導・助言を受けながら特定の専門領域に関する研究に取り組みます。学生はその過程から創薬科学研究の現況を知り、歩み始めようとする研究者の道を模索します。

4・5・6年次〈薬学科〉

4年次前期は主に午前は講義、午後は医療薬学ワークショップに取り組み、医療薬学分野の全体像を理解します。4年次後期に始まる特別実習は6年次まで続きます。この特別実習では研究室に所属し、教員の指導・助言を受けながら特定の専門領域に関する研究に取り組みます。学生はその過程から医療薬学研究の現況を知り、自身が歩む臨床薬学研究者・薬剤師としての方向性を模索します。あわせて5年次には京都大学医学部附属病院薬剤部と学外の調剤薬局で5か月間の実務実習を行います。この実習では医療における薬剤師の役割と職能を理解するとともに、薬剤業務を実践的に学びます。

科学的な探究心こそ、 薬学の核心。京大薬学部で ファーマドリームを志して

薬学部 / 大学院薬学研究科
土居 雅夫 教授



人間の体内の活動は、朝と夜とでは別人と言っていいほど異なります。それは脳波やホルモン分泌などの生命活動の多くは、一日を周期とする概日リズムに従っているから。いわゆる体内時計ですが、投薬には薬が有効に作用する時間帯を把握する必要があり、薬学において重要な鍵を握ります。近年は生活習慣の乱れにより概日リズムが乱れ、睡眠障害をはじめとするさまざまな現代病が引き起こされています。私の研究では、この生体内の時間をコントロールして正しい時間にもどすことで、新たな治療薬や治療法に活かすことをめざしています。

時間に注目した創薬の可能性に挑むきっかけになったのは、学生のころに飛び込んできた哺乳類における時計遺伝子発見の報せ。約24時間を一周期とするリズムは多くの生物に共通していること、無形と思われた時間は遺伝子に由来することを知り衝撃を受けました。なんとかこの時間の仕組みと病気の関係を解き明かしたいと実験をくり返すうち、食塩を摂りすぎると高血圧になるというありふれた症状と時計遺伝子との関係に気づいたのです。発見してしまえばコロンブスの卵。時計遺伝子を軸に生体内のリズムに働きかけることで、生活の乱れによる現代病はもちろん、高齢化に伴うドライアイの改善など、「時

間」を利用した薬学の可能性を見出してきました。

薬学部の使命は人類を救う薬を生みだすこと。その核となるのは科学的な探究心です。ブレイクスルーは思いもよらぬ角度からしかやってきません。生命の不思議に純な好奇心で虚心坦懐に挑むからこそ、創薬においても新たな可能性が拓けます。京大薬学部が重視するのはこの科学としての薬学あるいは医療です。新入生向けの全学講義では「生物学のフロンティア」などを担当していますが、そこでは研究の楽しさを積極的に伝え、高校から大学に入るみなさんの自由な心をおこしたいと考えています。私の研究はこれから大学での学びをはじめみなさんにとってはもう古い研究です。自由と探究の心を羅針盤に、そのさを切り拓く力をつけてください。新薬ひとつをつくりだせば全人類を救える可能性がある。そんな「ファーマドリーム」をめざす野心のある学生を待っています。

先輩が教える 京都大学の魅力

在校生 薬学部 薬学科 3回生

知的好奇心があれば、 どんなことにも挑戦できる場所！

京都大学には素晴らしい先生方と高い志を持った仲間達と共に勉学に打ち込むことができる環境があります。私は1年時から肺炎の薬について研究をしていました。また、交換留学のためオーストラリアに行き、今後の研究や活動の幅を広げる貴重な経験をしました。今年の夏にはアメリカでの研究留学に参加します。京都大学薬学部では授業はもちろんのこと、研究や留学など自分の知的好奇心を刺激することにも挑戦できます！



山崎 友里加さん
京都府
京都府立洛北高等学校 出身

卒業後の進路

薬科学科 [4年制]

■概要 卒業生のうち、9割以上が修士課程へ進学し、修士課程を修了した学生の2~3割が博士後期課程に進学します。修士課程修了者は8~9割が製薬会社などに専門性を活かして就職するほか、幅広い分野の企業にも就職します。博士後期課程修了者の就職先も修士課程と同様ですが、国内外の研究機関や国公立大学にも就職するのが特徴です。

■就職先の例(修士課程修了者) 味の素(株)/アステラス製薬(株)/大塚製薬(株)/小野薬品工業(株)/花王(株)/塩野義製薬(株)/住友ファーマ(株)/第一三共(株) など

薬学科 [6年制]

■概要 卒業生のうち、1~2割が博士課程に進学します。学部卒業生はその多くが製薬会社などに専門性を活かして就職するほか、1~3割が薬剤師として医療機関に就職します。4年間の博士課程修了者の就職先も学部卒業生と同様ですが、国内外の研究機関や国公立大学にも就職するのが特徴です。

■取得可能な資格 薬学科(6年制)の卒業見込みの者および卒業生には、薬剤師国家試験の受験資格が与えられます。

■就職先の例 京都大学医学部附属病院/アステラス製薬(株)/塩野義製薬(株)/第一三共(株) など

大学院の紹介

大学院薬学研究科

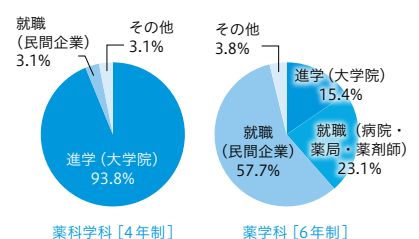
薬学研究者への第一歩



薬学は、人体に働きその機能の調節等を介して疾病の治療、健康の増進をもたらす「医薬品」の創製、生産、適正な使用を目標とする総合科学です。

京都大学薬学研究科は、諸学問領域の統合と演繹を通じて世界に例を見ない創造的な薬学の“創”と“療”の拠点を構築して、生命倫理を基盤に独創的な創薬研究を行うことのできる資質と能力を有する研究者の育成と先端的創薬科学・医療薬学研究的の遂行を通して社会の発展に貢献することを目標としています。

2022年度 卒業生の状況



工学部

Faculty of ENGINEERING

- 地球工学科
- 電気電子工学科
- 建築学科
- 情報学科
- 物理工学科
- 工業化学科

学理をしっかり体得し、

自身の目で確かめて、

納得ゆくまで突き詰める。

強固な土台の上こそ独創性は華ひらく



注目

地球社会の持続的な発展を担う

学問の本質は〈真理〉の探究です。そうした学問領域のひとつである工学は、人びとの生活に深く関わるテーマを扱っており、地球や社会の持続可能な発展や文化・文明の創造という人類の課題に責任を負っています。京都大学の工学部は、こうした考え方に立脚した教育・研究を行っており、確かな基礎学力、高度な専門能力、正しい倫理観、豊かな個性、これらを兼ね備えた人材の育成をめざしています。

自由の学風と学問の基礎を重視

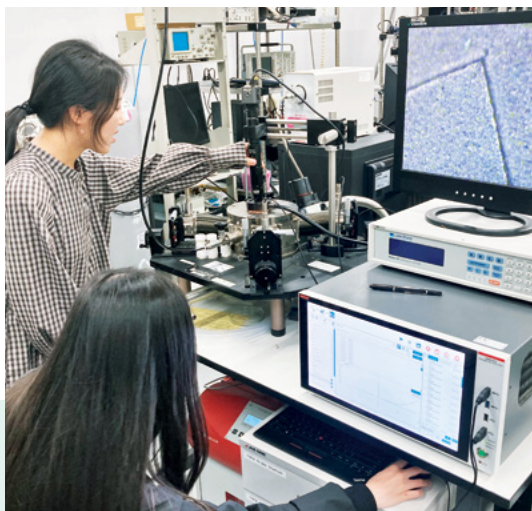
京都大学が誇る〈自由の学風〉は、既存概念や他者の言動にとらわれず、あらゆる事象の本質を自分自身の耳目手足で確かめ、科学的に理解することに基づいています。そのため京都大学工学部では、ともに学ぶ研究者や学生に自身を律する厳しさを求めています。また、工学は応用を主にすると思われがちですが、京都大学の工学部では、基礎となる学理をしっかり体得することが、将来の幅広い応用につながると考えています。

京都大学最大の学部

京都大学・工学部の歴史は、京都帝国大学が創設された明治30(1897)年6月の3か月後、分科大学のひとつとして理工科大学が開校されたことから始まります。以来120年間、工学部はつねに次代を見つめた拡充と整備を続け、京都大学最大の学部を発展しています。

工学の全領域をカバーする6学科

京都大学工学部は大学院重点化にともない、1993年以降、細分化されていた23学科を工業化学科、物理工学科、電気電子工学科、情報学科、地球工学科、建築学科に改組し、6学科が有機的に連携しながら、工学分野のほとんどをカバーする教育・研究体制を整えています。また、大学院工学研究科(主に桂キャンパス)・情報学研究科・エネルギー科学研究科・地球環境学堂(吉田キャンパス)の各研究室が、工学部4年次の特別研究(卒業研究)の場ともなっています。



工学部の特徴

1 伸び幅のある思考力と実践力の養成

京都大学の工学部は、学生が特定分野の専門知識を修得するだけでなく、幅広い視点から科学・技術の発展を見通し、新たなフィールドを開拓・創造していける人材を育てたいと考えています。そのため6学科すべてにおいて基礎教育を重視し、伸び幅のある思考力と実践力を養います。

2 柔軟な創造力を育む柔軟な学び

地球工学科、建築学科、物理工学科、電気電子工学科、情報工学科、工業化学科、それぞれが育成をめざす研究・開発・技術系人材には、柔軟な創造力が必要不可欠です。それを前提に各学科がカリキュラムに共通性や相互の融通性をもたせ、幅広く柔軟な学習ができるようにしています。あわせて必要に応じ、他学科や他学部の専門科目が履修できるようにもしています。

3 全学共通科目の履修に注力

京都大学の工学部では1年次から2年次にかけて、教養教育を軸とする「全学共通科目」を主に学びます。この全学共通科目には、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群、情報工科学科群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群などの多様な科目があります。こうした2年間により、高度な専門分野を学ぶための基礎を養うとともに、幅広い学問にふれることで豊かな教養を身につけ、人としての視野を広げます。

4 高度な専門科目への段階的な移行

京都大学の工学部では概ね全学科が1年次から専門基礎科目を学び始め、2年次では同科目の履修が主になります。あわせて2年次から専門科目を学び始め、3年次では同科目の履修が主になります。こうして段階的に、学びを高度な専門科目に移行することで、強固な基礎を柔軟に応用するための知力・能力を着実に培います。

5 卒業に向けた創造的な研究活動

4年次で行う「特別研究(卒業研究)」では、担当教員の指導・助言を受けながら各自が定めたテーマに関する専門的な研究に取組み、その結果を学士論文にまとめます。この間、学生は各研究室に所属し、教員や大学院生を交えた議論を重ねつつ、創造的な研究活動を体得します。

工学部が望む学生像

- 高等学校での学習内容をよく理解して、工学部での基礎学理の教育を受けるのに十分な能力を有している人。
- 既存概念にとらわれず、自分自身の目でしっかりと確かめ、得られた情報や知識を整理統合し論理的に考察することによって、物事の本質を理解しようとする人。
- 日本語・外国語を問わず、自らの意見や主張をわかりやすく発信する能力を身に着けるために必須の基礎的な言語能力とコミュニケーション能力を持った人。
- 創造的に新しい世界を開拓しようとする意欲とバイタリティーに満ちた人。

6 学科の紹介

地球工学科

地球の合理的な開発・保全

地球工学は、我々の生活と先端技術を支える資源・エネルギー、持続的に社会を支えるインフラの発展、そして人類が自然と共生するために必要な環境の維持など、諸技術体系とその融合分野で構成されます。多岐にわたる科学技術を総合的に理解する見識を養う教育をめざし、「Think Globally and Act Locally」を理念に掲げ、地球全体の合理的な開発・保全と人類の持続可能な発展を支える高度な研究や実務を遂行できる能力を養っています。国際的技術者の育成に必要な、すべての講義が英語で行われる「国際コース」も設置されています。



ドローンを用いた野外実験

建築学科

ヒューマンな技術を学ぶ

人間の生活環境を構成する建築は、安全で健康にして快適な生活を発展させる基盤であり、多様な技術を総合して創造されます。建築は人間生活のあらゆる面に深く密接にかかわるヒューマンな技術といえます。建築学科では、自然科学だけでなく、人文・社会科学や芸術に深い関心をもつ学生もひとしく歓迎し、その才能を伸ばす教育を行います。卒業後の進路も、建築家、建築技術者、建築行政担当者、大学や企業の研究者、コンサルタント、プランナーなど、実に多様です。



設計演習講評会

物理工学科

新技術の創造人材の養成

21世紀を起点とする次代に向けて、物理学分野には新たなシステムや材料、エネルギー源の開発などに加え、宇宙空間の利用といった課題解決への期待が寄せられています。こうしたニーズに応える新技術を創造するには、基礎的学問を十二分に修得する必要があるという観点から「物理工学科」では、基礎重視の教育・研究を進めています。さらに機械システム学、材料科学、宇宙基礎工学、原子核工学、エネルギー応用工学の5コースが連携し、高い専門的能力と広い視野を持つ人材を育成します。



クリーンルームでの微細加工実験

電気電子工学科

産業や生活基盤を支える科学技術を

電気電子工学は、現代社会のあらゆる産業や社会インフラに不可欠な科学技術を支えるだけでなく、21世紀を豊かにするための重要な役割を担っています。そのため電気電子工学科では、幅広い領域におよぶ総合的な知識と高い専門性に加え、複眼的な視野や卓越した独創性、倫理観を備えた人材の育成をめざしています。カリキュラムは基礎学習のあと、各自が志望にあわせて専門科目を履修します。こうした4年の学びを通して最先端の科学技術を理解しながら、電気電子工学の発展が担える知識と技術を身につけます。

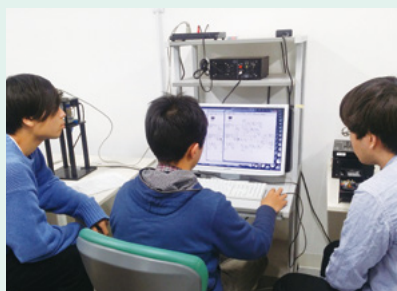


2年次での実習

情報学科

複雑なシステムの問題を解決

社会の高度情報化にともない、多様な分野に現れる数理モデルの解析や、複雑な情報システムを通じて収集される膨大なビッグデータの分析や活用が必要とされています。そのためにはシステムの機能はもとより、そこに流れる「情報」の本質を究明し、それに基づいて効率的なデザインを行うための思考力が重要になってきます。「情報学科」では、実世界に現れる複雑なシステムの諸問題を数理的アプローチにより解決するとともに、計算機のハードウェア、システム・ソフトウェア、情報システムを設計・活用できる人材となることをめざして学びます。

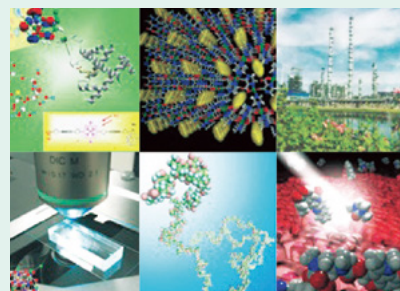


演習の様子

工業化学科[※]

最先端科学技術の基盤を担う

化学は、さまざまな物質をつくる反応とそのプロセス、物質がもつ機能や物性を対象とする学問であり、人びとの豊かな生活を支えています。「工業化学科」では、このような化学分野で活躍できる人材を育成しています。1年次で語学を含めた基礎科目を幅広く学んだのち、2年次からは工業化学科の専門基礎科目を学びます。2年次後期には「創成化学」、「先端化学」、「化学プロセス工学」の3コースに分かれて、より専門的な学習をスタートし、4年次には研究室に所属して卒業研究を行います。



工業化学科での最先端化学の研究

※「工業化学科」は、2024年4月より「理工化学科」への名称変更を計画しています。この計画は、文部科学省の審査結果によって確定するものであり、変更があり得ます。

教員
直伝

学問を
楽しむ
ヒント

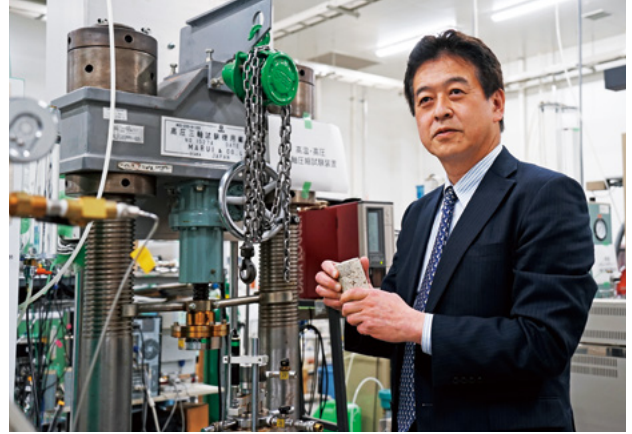
暮らしを守る工学の叡智。 学問が社会に活かされる よろこびを実感してほしい

工学部 / 大学院工学研究科
岸田 潔 教授

窓からボールを落とし、地面に到着するまでの時間を測る。その時間と、机上で計算した数式の結果とがぴたりと合う。私が力学に魅せられた中学理科の実験です。すぐには答えの出ない大学の研究においても、理論と実践、そのトライ・アンド・エラーのくり返しが理解を深め、解決への道を拓きます。みずから導いた数式どおりの現象が、実験をととして眼前に現れるのは格別。基礎を重んじる工学部の伝統と、桂キャンパスの広大な空間ならではの充実した実験環境が、理論と実践の両輪を手助けします。

工学という分野は、研究成果が大なり小なり、社会で力を発揮します。とりわけ、私の専門である土木工学は人びとの暮らしとのつながりが密接。道路やトンネルなどの交通インフラ、地震や水害などの自然災害に深く関わり、寄せられる期待も大きいのです。

日本には、自然災害の危険にさらされた場所が各地にあります。斜面の土砂が崩れ、民家や道路に被害がおよぶ可能性のあるとき、なによりも重視すべきは人の命。工学には、現象のすべてが解明されていなくとも、待ったなしで、一步をふみ出さなければならない状況があるのです。崩れた土砂で道路が陥没し、数か月間復旧できないとして



も、命の安全は守る。そのための方策を、安全性や予算と相談しつつ、住民の方や行政・自治体、他分野の研究者との対話をとおして検討します。学問が暮らしを豊かにするよろこびは、学生たちにも味わってほしい工学の醍醐味です。

真理をとことん追究するも、社会実装を見据えて研究するもよし。選択は自由ですが、あえて口出しするならば、「おもしろそう」を選ぶことです。「おもしろそう」は、やってみなければ真価がわかりません。既知の「おもしろい」よりも、もっとおもしろいことに会える可能性を秘めているのです。たとえ失敗しても、リ・スタートすればよいし、大学の4年間はそれができる時間。アンテナの赴くまま、研究だけでなく、欲ばって夢中になれることをたくさん見つけてください。

先輩が教える 京都大学の魅力

卒業生 OMRON SINIC X Corporation
(オムロン サイニックス株式会社)
2013年3月 工学部電気電子工学科 卒業

ハードからソフトまで！ AIを極めるなら電電!?

修士で就職後複数企業での研究開発職を経て、コンピュータビジョン分野(西野研)でPh.D.を取得しました。私が専門とするロボットビジョンはAI分野の最先端領域であり、近年目覚ましい発展を遂げています。そういった状況の中で重要なのは流行の技術やツールの使い方を習得することではなく、どんな新しい技術の本質をも捉えられる「知の基礎体力」を養うことです。電気電子工学科はハードからソフトまで幅広い基礎科目を網羅しており、0と1の情報と物理世界を繋ぐ魅力的な学問領域であるといえるでしょう。



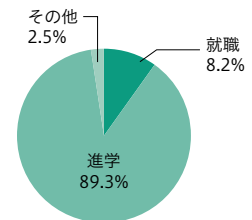
西村 真衣さん
大阪府
大阪府立天王寺高等学校 出身

卒業後の進路

■概要 工学部では例年9割近くの学生が、学科の学びが直結する本学の工学研究科、エネルギー科学研究科、情報学研究科などの大学院(修士課程)に進学します。その後も博士課程に進み、大学等の研究・教育職をめざす者も少なくありませんが、専門分野と密に関連する企業などの求めに応え、研究・開発・技術職に就くという進路も広がっています。

■取得可能な資格 在学中に所定の科目を修得することにより、測量士、建築士、電気主任技術者、無線従事者、危険物取扱者、ボイラー取扱主任者などの資格取得に向けた学科試験の全科目、または一部が免除されます(卒業後一定の実務期間を経ることで受験資格が得られる資格もあります)。

2022年度 卒業生の状況



大学院の紹介

大学院工学研究科

来たれ!
京大「工学」の大学院へ!!



京大工学部の卒業生の多くは、大学院の工学研究科に進学します。研究室の多くは桂キャンパス(P68)にあり、世界最先端の研究設備が揃っています。また、工学研究科は京大でも高校の教科という物理・化学に限定した分野だけでなく、環境にやさしくかつ災害につよい街づくりや建築、情報科学、デザインや医療・生命系との融合的な分野もあり、「工学」というイメージから想像できないほどの広い領域をカバーしています。こうして学部の時よりもさらに奥深く、幅広く学んだ大学院生は、修了後、大学や国内外の研究機関はもちろん、政府機関や国際行政機関、国内外の民間企業へ就職し、社会に大きく羽ばたいています。

受験生の皆さんにとっては、まずは大学入試の合格が大きな目標ですが、是非その先も見据えて「工学」を志してください。



農学部

Faculty of Agriculture

- 資源生物科学科
- 応用生命科学科
- 地域環境工学科
- 食料・環境経済学科
- 森林科学科
- 食品生物科学科

生命・食料・環境



地球規模に広がる研究・教育の場(中央)／フランスの大規模放牧畜産、有機農産物のフードシステム(右)／日本の小規模な有機JAS米の圃場、左／パリのビオ専門マルシェ)．中央下／植物工場に貢献する技術開発

注目

▶ 先端学問としての農学

農学と聞いても、「農業」というイメージしか浮かばないかもしれません。しかし、今日の農学は「生命・食料・環境」というキーワードで表わされる総合的な学問へと変貌しています。まず、農学は、生命に関する総合科学です。実際に、農学では、微生物(ウイルス、細菌、酵母、カビなど)、植物(穀物、草本植物、樹木など)、動物(昆虫類、魚類、家畜など)などさまざまな生物を取り扱っています。また、バイオテクノロジー、遺伝子組換え、バイオマス、ゲノム編集なども重要なキーワードになっています。

▶ 農学部への誘い

2023年に創立100周年を迎える京大農学部は、現在6学科体制で、今日の農学のほぼ全域で、教育と研究を展開しています。今日の農学は、明日の農学に向けて日々進化しています。みなさん、京大農学部で、明日の農学に向けてチャレンジしてみませんか。

▶ 持続的社会的構築へむけて

今日の農学は、分子・細胞・個体レベルから生態系・地域レベルまで広範囲にわたって、人類の健康で文化的生活の持続に大きな使命を果たしています。とくに、地球規模で食料と栄養の確保は深刻な問題です。そのために、農学が果たすべき役割は大きく、農林水産業や食品関連産業の新技術の開発に注力するとともに、農業経済や農業経営などの社会科学的なアプローチも行っています。これについては、農業のハイテク化、農業用ロボット、植物工場、品種改良、食品と健康、植物生産の新技術、フードシステムなど数々のキーワードを挙げることができます。さらに、人類の生活基盤を揺るがす環境問題(陸域や海洋汚染、森林破壊など)は、農林水産業の生産基盤を脅かすだけでなく、農林水産業が原因となることもあります。そのため、環境問題に対する取り組みは二重の意味で農学の重要な使命の一つとなります。



1 6学科を準備

農学部は、高い倫理性を前提として、農学に関連する知識とそれに基づく能力、すなわち(1)人類が直面する課題への科学的解決法を構想する能力、(2)農林水産業及び食品・生命科学関連産業の発展に寄与する能力、(3)生命・食料・環境に関わる世界水準の研究を理解する能力を身につけた人材を育てることを目的としています。6学科を設置し、本学の特徴である自由の学風を尊重しながら、総合的にこれらの目的の達成に取り組んでいます。人間社会は、地球上の動植物や微生物などさまざまな生物と共存し、それらを利用しています。生物の持続可能な利用のためには、生命の仕組みや生態系の動態についての広く深い理解が欠かせません。また、人間活動との調整のためには、工学的な技術や社会科学からの分析も必要になります。各学科で求められる専門知識の基礎をしっかりと身につけながら、幅広い分野に興味をもち視野を広げることが求められます。

2 学びを始める:第1年次

農学部では入学時に学ぶ学科が決まります。各学科のカリキュラム(授業計画)は、教養科目と専門科目がクサビ状に組み合わせられて構成されています。第1学年では、全学共通科目を重点に幅広い学識を養うことを目的とします。たとえば、自然科学、人文・社会科学、語学などの基礎教養科目を履修します。保健・体育科目や英語で学ぶ科目を加えるなどして自分のカリキュラムをつくります。

3 学びを高める:第2・3年次

第2学年の後期(秋から冬)になると、専門科目の割合が増えます。農学部の専門科目では、講義に加えて実験、実習、演習が重視され、技術・手法に関する密度の高い教育が実施されます。農学部は京都大学のなかでも海外への関心が高く、毎年、多くの学生が外国への留学に挑戦します。第3学年は専門科目の受講に専念します。同時に研究分野(研究室)への分属という大きな選択をする時期です。分野訪問などで情報を収集しながら、将来の方向を考えた講義の選択が求められます。

4 学びを結びつなぐ:第4年次

第4学年では、研究分野に分かれて課題研究(卒業研究)に取り組み、卒業論文を仕上げます。教員の指導や助言を受けながら、演習や大学院生との交流をとおして未知の分野の研究に取り組む、研究者としての最初のステップです。所定の単位を修得した学生は、学士(農学)の学位を取得して卒業します。さらに研究を深めようと志す多くの学生が大学院へ進学します。

農学部が望む学生像

農学部では、21世紀の重要課題である「生命・食料・環境」に関わる様々な複合的な問題に、生物学、化学、物理学、社会科学などの多様な基礎知識をベースに、総合的な観点から立ち向かいます。本学部は、それぞれの分野に共通する基礎的科目を系統的に教育するとともに、学科ごとに異なる高度な専門教育を実施することにより、国際的な広い視野と高度な専門知識をもち、高い倫理性と強い責任感をもち、主体的に行動でき、コミュニケーション能力に長けた多様で優れた人材を養成することを目的としています。この観点から、各学科が対象とする様々な課題に果敢に挑戦する意欲をもち、応用力と適応力、ならびに、それぞれの専門教育に必要な学力を有する学生を求めています。

6 学科の紹介

資源生物科学科

資源生物の有効利用に向けて
多面的な研究に取り組む

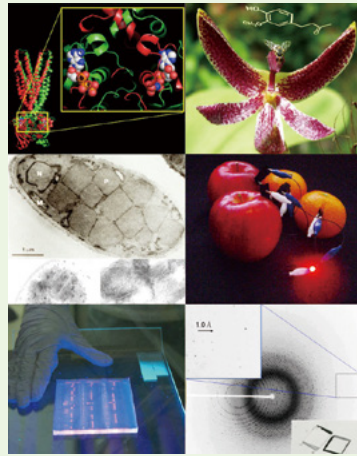
「資源生物科学科」は陸地や海洋に生育・生息する資源生物の生産性と品質の向上について、環境との調和をはかりつつ追求するための教育・研究を行っています。あわせて資源生物を対象に、外敵や病気から守る技術の開発、成育・生息に好ましい環境を持続的に保全する方策の探究、有用物質や遺伝子の有効な利用法の考察、これまで生産が見込めなかった劣悪な環境で育つ新品種の創出など、基礎から応用に至る研究を多面的に行っています。



応用生命科学科

生物資源の生産・加工・利用・保全を
化学的・生物学的に探求する

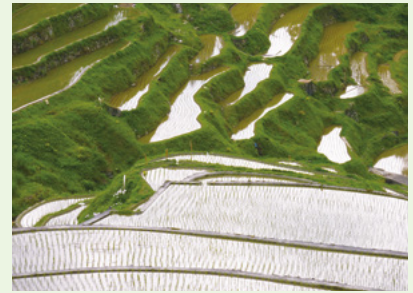
「応用生命科学科」は、微生物、植物、動物など生物の生命現象や機能を化学、生物学、生化学、物理学、生理学、分子生物学の立場から深く探求・理解すること(バイオサイエンス)をめざしています。さらにその成果を農・医薬品、食品、化成品をはじめとする生活に有益な物質の高度な生産や利用に応用する(バイオテクノロジー)ための教育と先端的研究を進めています。



地域環境工学科

環境と調和した食料生産をはじめ
豊かな21世紀社会の構築をめざす

「地域環境工学科」は、環境と調和した効率的な食料生産、地球全域をふくむ環境・エネルギー問題の解決、環境共生型農村社会の創造をターゲットに工学的な技術をツールとする教育・研究を行っています。具体的には、水循環の制御による水資源の合理的な利用、農業水利施設の効率的な維持管理と更新、生態系と調和した水・土壌環境の実現、農村計画と住民主体の地域づくり、持続的食料生産に向けてのエネルギーの変換・利用、植物工場、精密農業、農畜水産業のロボット化および生物センシングなどが挙げられ、さまざまな研究をとおりて豊かな21世紀社会を構築していきます。



食料・環境経済学科

人々の生活に関連深い食料問題と
環境問題に関する教育・研究を行う

「食料・環境経済学科」では、私たちの生活に最も関連の深い食料問題と環境問題に関する教育・研究を行っています。また、これらの問題を国内だけでなく世界的な次元で捉え、途上国の貧困問題、人口問題、技術の開発普及、農林水産物の貿易問題が内包する食品安全性、さらに農山漁村の社会経済生活などに関する研究も進めています。その際、有限な地球環境資源の保全と両立する持続可能な資源循環型社会の在り方についても視野・視点を広げ、学際的かつ総合的に取り組んでいるのも「食料・環境経済学科」の特色です。



森林科学科

森林の科学的な教育・研究により
自然保護と豊かな社会の共存をめざす

森林には樹木をはじめ、多様な動植物や菌類による生態系があり、私たちの生活に欠かせない木材や紙となる木質資源を供給すると同時に、災害防止や気候維持などの環境保全機能も担っています。「森林科学科」では、自然保護と豊かな社会との共存に向けて、森林とそのバイオマス資源を対象とする教育・研究を行っています。生態系、生物多様性、管理と生産、緑地工学、地球環境化学、材料工学、有機化学、分子生物学、細胞生物学、バイオマスエネルギー、社会科学的アプローチなど、多様な教育・研究テーマを用意しています。



食品生物科学科

生命科学研究を基盤として
より良い食品を開発する

「食品生物科学科」は、生化学、有機化学、物理化学および分子生物学を基盤とする生命科学の観点から教育・研究を行っています。〈食〉に関するさまざまな課題に対して科学的な解決法を提示できるように「実験科学」を重視し、①食品に関する最先端の研究を通じて生物・生命現象を解明すること、②生物・人間を深く研究して、人間にとってより良い食品を創製すること、③食品の効率的な生産に寄与する技術を開発することのできる人材を育成することをめざしています。



教員
直伝学問を
楽しむ
ヒント

農学は社会との関係があってこそ。 「自分とちがう」を知ることが よりよい仕組みを描く鍵

農学部 / 大学院農学研究科
秋津 元輝 教授



農業とは、とりもなおさず食べものを生産する営みのこと。なにも食べずして生きられない以上、それはすべての人の暮らしにかかわるテーマといえます。ゲノム編集による品種改良をはじめ、めざましい変化をとげている農業ですが、流通経路の国際化に伴って生産から消費までの過程が複雑化し、生産者の労働条件や環境への負荷が見えづらくなるなど、かならずしも正しい方向に進んでいるとはかぎりません。そこで私は、人権や環境への配慮にもとづく倫理性を尺度として、正しい食農のあり方を追究しています。

食と農をめぐるシステムを見なおすには、表面的な仕組みだけでなく、システムが形成された背景にある人びとの考え方にまでふみ込むことが重要。そのため、調査は人類学や社会学の手法を用いたフィールドワークが基本です。農学研究というと、農業や肥料の改良などの技術開発が目目されがちですが、そもそも農学は社会課題にいかに対処するのかを考える学問。社会との関係を抜きに進めることはできません。研究成果が人や環境の害となる可能性を客観的に省み、社会全体にとって望ましい方向へと自発的に舵をとることが、これからの農学部求められる姿勢だと信じています。

現在の研究テーマは、地域の食農システムを見直そうとしている人たちと一緒に行動しながら、その軌跡を探ること。インタビューや会話をつうじて、行動の後ろで働く考えを探っています。聞きたいことをうまく引き出すには、話がしやすい場づくりや、的確な質問をするための知識が必要。相手の価値観に寄り添い、同じ目線で誠実に話すこともたいせつです。容易に身につくものではありませんが、自分の知らない生き方や考え方に会えるのは、このうえなく楽しいひとときです。

多様な生き方を認め、その価値観を理解することは、「人権とはなにか」を考えるうえで欠かせない視点です。同時に、世の中を広く見渡し、課題を発見することにも役立ちます。高校までは同じような家庭環境の人に囲まれて過ごすことも多く、「ちがう世界」を想像しにくいかもしれませんが、京都大学は個性豊かな仲間と会える場所。同級生だけでなく、世代を超えて語り合い、視野と知識の幅をぞんぶんに広げてください。

先輩が教える 京都大学の魅力

卒業生

京都大学大学院農学研究科 食品生物科学専攻
博士後期課程
2023年3月 農学研究科 食品生物科学専攻
修士課程修了

思いもなかった、 新たな進路が見つかる環境

食と人体に興味があり食品生物科学科を選びましたが、入学時には博士課程にまで進学するとは考えていませんでした。食品生物科学科では、3年生までに基礎知識を学び、4年生で各研究室に配属されて研究に取り組みます。その中で私は、自分たちで新たな知見を得て物事を解明していくことに面白みを感じ、博士課程に進学することに決めました。京都大学は手段としての勉強ではなく、純粋な学問を修めるのに最高の場所だと思います。



丸山 世倫さん
大阪府
大阪府立茨木高等学校 出身

卒業後の進路

■概要 農学部では例年8割前後の学生が大学院に進学します。また、就職先は官公庁、公的研究機関、化学・食品等の製造業、バイオテクノロジー関連産業などはもちろん、商社や金融・保険業からコンピュータ関連まで、年々幅広くなっており、多くの卒業生が公務員や研究・開発職、あるいは総合職として、各界で活躍しています。

■就職先の例 富士通(株)/任天堂(株)/伊藤忠商事(株)/住友商事(株)/キーエンス/鹿島建設(株)/トヨタホーム(株)/三井住友銀行/PwCあらた有限責任監査法人/東宝(株)/関西テレビ放送(株)/大和証券(株)/ライオン(株)/オリックス(株)/㈱ニトリ/㈱SHIFT/三井住友海上火災保険(株)/西日本旅客鉄道(株)/京都大学/総務省/経済産業省/林野庁など

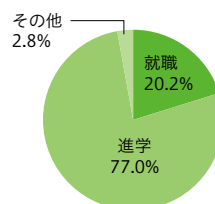
■取得可能な資格 農学部では教育職員免許状の取得を目的とした教職課程のほか、食品衛生管理者・食品衛生監視員、測量士補、樹木医補といった資格の取得・認定に向けた教育課程を設けています。

■取得可能な教育職員免許の種類と教科

森林科学科……………中学校一種「理科」、
高等学校一種「理科」※1
食料・環境経済学科……………高等学校一種「農業」※2

※1 森林科学科以外の学科に入学した学生も、森林科学科における所要資格を満たせば取得可能です。
※2 食料・環境経済学科以外の学科に入学した学生も、食料・環境経済学科における所要資格を満たせば取得可能です。

2022年度 卒業生の状況



大学院の紹介

大学院農学研究科

「生命・食料・環境」を究める



天然由来分子精密構造解析システム
(北部キャンパス機器分析拠点設備)

農学研究科は、農学、森林科学、応用生命科学、応用生物科学、地域環境科学、生物資源経済学、食品生物科学の7つの専攻、および附属教育研究施設(農場・牧場)から成り、自然科学、人文科学、社会科学の総合的な学問体系の観点から「生命・食料・環境」をキーワードに教員と学生が一体となり研究を進めています。女子学生・留学生が多数在籍し、ダイバーシティを受容する環境が整備されています。具体的な研究については、陸・海・空の生物圏および微生物から植物・動物に至る幅広い生物を研究対象として、最先端の機器等を用いて、「生命」の基本原則を明らかにし、良質な食料の安定的な生産や気候変動対策・再生可能エネルギーの導入等の「食料」・「環境」にかかる課題の解決に取り組み、持続可能な開発目標(SDGs)の達成にも貢献しています。